京城日報

廿八日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾五錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄一行金壹圓 ▲三號活字四行金五拾錢 ▲六號活字は五號活字同様

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 肉田直敏
印刷人 小田三之介

◎亞剌比亞停車場破壞

カイロ來電に依ればメツカ大僧正は其の三名の子息に各軍隊の指揮權を授け土耳古官憲が援軍を派遣するを防止せんが爲へヂヤジ鐵道百哩に添へる停車場を破壞せしめたり（紐育來電）

◎驚くべき市街戰の光景

ヴエルダン猛襲再擧前の平靜

ヴエルダンの歩兵攻擊は二十五日小康の模様なりしが是れ猛襲再擧前の平靜なりフロクデテール及フリユーリーに對する砲擊は刻々猛烈を極め午後五時に至り其の頂點に達したり佛國軍事專門家の豫想する處にては敵は同所より直にモルトムを攻擊せんとするものゝ如しこフリユーリーに於ける二十五日の市街戰は接戰四十時間に及び驚くべき光景を演出し兩軍五に數フードの距離に於て爆彈を投合ひ獨軍の數隊は其の地上を掩ひ全兵員は連續せる波浪の如く襲來し一ヤードに二十人を算したり（倫敦電報）

◎伊軍諸陣地を奪回す

墺軍の總退却

羅馬來電に依れば伊太利軍はゴムベトジヨウ、グレツテ、アジアゴ、ガリオ、センギヨ山等を奪回し墺軍は總退却をなせり羅馬市民は狂喜して此の報道を迎へたり（倫敦電報）

◎海軍獨立と福建省

支那海軍の獨立により北方政府は軍隊の輸送難に陷り其結果福建省は全然南方の有に歸すべし（東京電報）

◎鹽稅剩餘金交附同意

佛國公使へ本國の訓電

佛國公使は二十五日本國より海蘭鐵道利子は鹽稅問題と引き放し本年第二支拂の優先權を得べく支那と取極をなすを條件とし鹽稅剩餘金交附に同意すとの訓電に接せり右海蘭鐵道に關する取極めは二十六日午後調印の筈なり（北京特電）

◎林男支那公使か

林權助男は愈々支那駐在公使たるを承諾し七月上旬任命發表の上中旬東京出發赴任の途に上るべしと傳へらる（東京電報）

◎日支銀行と政府

政府は日支民間實業家により合辦事業として設立計畫中の日支銀行設立と否とに拘らず滿洲銀行を設置する意嚮なりと（東京電報）

◎選擧改正と反對

內務省の立案せる選擧法改正案が改正の主題たる選擧權擴張を不問に附せりとて同改正案に對する反對頗る盛んなり（東京電報）

◎廣軌案の前途

軌制調査會にては廣軌案の原案に修正を加へたる上可決する事となるべしと（東京電報）

◎正貨六億圓

我正貨六億圓を超過したり（東京電報）

◎佛領總督渡鮮

佛領印度支那總督エー、ルーム一行は二十八日朝新羅丸にて釜山著午前十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

▲大田通過 佛領印度支那總督ルーム氏一行六名は二十八日午後五時大田驛通過北行す（大田特電）

◎山本海軍大佐

海軍大佐山本英輔氏は二十八日朝釜山著直に長春に向け出發せり（釜山特電）

◎櫻井臺銀頭取

櫻井臺灣銀行頭取は二十八日朝郵船信濃丸にて門司著同船にて海路神戸經由東上す（門司特電）

◎寺內總督東上

寺內總督は暑中休暇期に於て東上の豫定なりしも過日突然元帥に列せられし爲め、東上期を繰り上げ御禮言上の爲め七月早々京城出發に決せり事情右の如くなれば今回の東上は總督府の主要政務よりは寧ろ御禮言上を主とせるものと見る可く、武官及び秘書官は隨行の筈なるが兒玉總務局長同行の件は未だ決定せずと

◎總督生花寄贈

故李根命子爵の返魂式は二十八日午後五時より東大門外に於て擧行の筈なるが寺內總督は高橋武官を代理參列せしめ生花一對を贈れり

◎李王太王訪問

李王殿下は二十八日午前十一時昌德宮御出門、德壽宮に李太王殿下を御訪問、午餐を共にせられ種々の御物語ありて午後三時歸還せられたり

◎井口軍司令官

江原道金化守備隊檢閱の爲め廿七日朝龍山發出張せる井口軍司令官は廿九日（既報廿日とせしは誤報）午後五時九分龍山著歸任の筈

◎佛領總督入京

印度支那總督エー、ルーム氏、同夫人、總督官房長カストン、ド、マルシャル氏、總督府政務局長アルンジユ、バツク、ドマルスリー氏、同夫人、總督副官陸軍大尉ジユール、ラングレー氏等一行は既記の如く二十八日午後九時南大門驛著汽車にて入京、朝鮮ホテルに投宿し、二十九日午前八時廿分同驛發滿鮮直通列車にて北行の筈なり一行は二十八日午前入京の豫定なりしより寺內總督は同日官邸に午餐會を開き、一同を招待することに決し居たるも、其後前記の如く變更されたるより遂に其運びに至らず、總督府よりは小松翰長出張南大門驛に歡迎す可し

◎府令二件發布

神社の祭式恒例式及び齋戒に關する件並に神職任用奉務及び服裝規則は府令を以て何れも二十九日の官報に依り公布せらるゝ事となれり、前者は全文十八條、後者は二十五條より成れり

◎酒稅令と官制

本年九月一日より實施の筈にて目下中央政府と交涉中なる朝鮮酒稅令改正案は其後交涉も着々進捗し法制局の審議も不日終了の筈なれば遠からず御裁可を仰ぎ發表の運びに至る可きが此の改正に伴ひ總督府に技術官を一名地方廳に技術官二十餘名を設け之れを處理するの必要あるを以て右に對する總督府官制改正の件も同時に發布せらるゝ可し

◎慈惠院長會同（最終日）

道慈惠醫院長會同第三日は前日に引續き廿八日午前九時より總督府第三會議室に開催寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長、總督府醫院長並主要職員等參列午前は寺內總督の訓示及び指示あり午後は事務の打合せを爲し之れにて豫定の日程を了へ午後三時終了閉會したり

◎豪雨と慶北農作

二十一日以來の豪雨は慶北各地に甚大なる被害ありたるは既報の如くなるが今慶北道廳調査にかゝる農作物に及ぼせる影響を聞くに浸水被害の重なる地は漆谷、金泉、軍威、茂城、尙州、善山にして就中被害の甚大なりしは金泉、尙州、茂城、善山なるも一般より觀測すれば春播麥作未收の分は應境の恐ありと雖も已に刈入を了したるもの大部分なれば思ひし程の被害なかる可く水稻に至りては今ほ田植準備期にて苗代にはさしたる影響なき模様なり而して徐ろに晴天となれば田植時に於ける水量充分にて各地隈なく田植するを得べきを以て今後の天候順調に回復なさば本年は頗る豐饒ならんと觀測さる

◎春蠶と夏蠶

京畿道の春蠶は今月末及び來月早々終了する筈なるが夏蠶の掃立は七月五日又は七日より着手さるゝ見込にて掃立枚數は前年に比し大差なしと

◎府尹の居場視察

京城府にては此程買收したる京城居場は今回之を龍山洞居場と命名し京城府にて直營することなりたるを以て金谷京城府尹は廿八日實地の視察を爲せり

◎總監部恒例講演會

總監部憲兵隊司令部恒例講演會第十二回は廿八日午前八時警務總監部會議室に於て開催し古海總務長以下各部官判任官以上全部出席[illegible]に關する講演ありたり

◎坂出技師講演

三十日午後四時より總督府第二會議室に於て過般歸任せる土木局技師坂出鳴海氏の歐米視察談ある筈

◎府郡係主任書記會同

京畿道府郡係主任書記會同は二十八日午前九時より開會同日を以て諮問事項の答申を終了したり二十九日よりは協議事項の日程に移るべしと

◎府郡書記懇親會

目下京畿道廳に於て開催中の府郡係主任書記會同の爲め入京中なる府郡書記四十餘名は二十八日午後七時より花月に於て懇親會を開催せり

平壤

▲商議補缺選擧 平壤商業會議所議員二名の補缺選擧は廿六日午前十時より商業會議所樓上に於て行はれ投票人員三十三名吳元灝九點[illegible]を以て當選せり而して次點者は鄭益鎭[illegible]の二名なり▲飲料水販賣 平壤府內に於ける清涼飲料水及び氷雪營業者總數は內鮮人を通じて一七六人なり▲傳染病患者數 平壤警察署管內傳染病患者總數は現在猩紅熱二名腸窒扶斯二〇名パラチブス二名合計二十六名なり▲篠田部長歸任 管內巡視中なりし篠田部長は本月二十八日歸任せり▲學務部長來壤 [illegible]學務局長は二十六日午前[illegible]來壤四時より市內各學校を視察の上午後七時大同館に於ける有志の歡迎會に臨めり

安東縣

▲鐵道守備交代 安東獨立守備第四中隊交代の爲現役兵七十四名は二十八日午後四時著列車にて來安歸還兵五十八名は三十日午前十時三十分列車にて出發す可し▲阿部氏記念品 近日哈爾賓支店長として赴任す可き元當地朝鮮銀行出張所長阿部氏は在任四年の長きに及び其間民會議長又は行政委員として安東の市政に盡瘁せられたる功績多大なるものあるに依り民會の決議に基き今回同氏に對し安東民團より記念として金側懷中時計に感謝を添へて贈呈せり▲木村鮮銀理事 滿洲視察の爲め出張中なりし朝鮮銀行理事木村雄次氏は隨員一名を從へ廿六日午後四時五龍背より來安富久洋服部に投宿二十七日午前七時卅分發列車にて南行▲鮮銀所長送迎宴 官民有志の發起にて二十八日午後七時より公會堂に於て當地鮮銀新所長松原兩氏の爲送迎會を開く筈なるが右兩氏は二十六日午後六時半よりスミレに於て更迭披露の宴を催せり▲八幡宮大祭執行 二十八日午前十時より鎭江山腹なる安東八幡宮大祭を執行され餘興として社前にて擊劍及び相撲等の催しある筈なれば當日は定めて盛況を呈す可し▲佐藤總長檢閱 關東都督府視察總長佐藤友熊氏は甲種檢閱の爲め隨員を從へて二十五日午後四時著安東警察署に投宿二十六日午前より安東警務署を檢閱し二十七日午後三時三十分五龍背へ赴き同地温泉場に一泊の上二十八日午前北行歸任す可し

清津

▲城津市況振ふ 城津港は數年來生牛の輸出杜絶せるに加へて二三年打續ける農作物不作は城津港の生命たる大豆の輸移出に不振を來し爲に市況は漸次衰頽し行き居住者の如きも減退して市中は到る處空家を現出するの有様にて不景氣の極點に達せるが今回久原鑛業會社が甲山銅山を買收して經營に着手せる爲め茲に復活して市況頓に活氣を呈し來り數年來絶てなかりし所家屋の建設亦勃興するに至れり而して甲山採鑛の搬出及需要物資の搬入經路に就ては進境ある城津人士は久原代表者間に相當打合せを爲し居る短距離港灣の設備よりする城津の位置優越せるを以て安ずる所ありたるに其後咸南新昌の經路運動猛烈となりたる結果城津も晏如たる能はず過般道廳に甲山道路の改修を請願して運動怠りなき有様なり尙先月來角田組は大敷網を以て漁業を開始せるに鰊鰯等の漁獲多く目下鰊鯖等盛漁期にある爲めに之れ又た少なからず市況に活氣を添へつゝありと▲茂山郡の馬鈴薯 咸北道茂山郡にては馬鈴薯の產額多きより農家副業として澱粉の製造を奬勵しつゝあるが昨年中の生產額は一萬四千四百八十圓に達し之を大正二年の產額に比すれば約二倍の增加を示せり而して同郡にては馬鈴薯は食糧の不足を補充し得て一方に澱粉製造の原料として有望なるを以て其作付反別を增加せしめ益々副業として澱粉の製造を奬勵せしむる方針なるが現今郡內に於ける澱粉製造機械は百七臺あり本器械は從來のものより製造力多く且つ價格も三圓內外の低價なれば漸次備付普及を計るべしと

元山

▲新商議選擧準備 過般認可されたる元山商業會議所にては議員數を內地人十六名朝鮮人四名とし申請中の所二十三日電報にて認可の旨其筋より通告あり廿六日は新商議役員及び新商議設立發起人一同商業會議所に集合し議員選擧の件に就き協議する所ありたるが右選擧は來月四日頃を以て行はるべし▲鯖不漁と鯛延繩 元山近海及び江原道沿岸に於て將に盛漁の時期なるべき鯖漁は潮流の關係と氣候水温等の激變に因り昨今は漁獲殆ど皆無の有様にて東海岸主要の產物たる干鯖の將來を憂慮されつゝあるのみならず鯛延繩に用ゆべき餌鯖の不足を來すに至り爲めに延繩の漁亦不可能となり目下同漁業は全く休止の狀態に陷れり▲築港近況 元山築港埋立の爲め運搬中なりし赤田川尻に於ける土砂は既に採盡したるを以て更に昨今は葛麻半島より每日六十坪內外の土砂運搬を繼續し居れり而して一方工事に從事せし人夫中過般赤田川尻砂利採取の際囚人を使役し好成績を得たる經驗に因り今後は現場にも囚人を使役すべく決し目下每日二十八名乃至三十名の囚人を出役しつゝあり▲海水浴道路完成 元山府の事業として起工したる春日町より松濤里濱に通ずる海水浴道路は此程全部の完成を見海水浴客の至便此の上なきを得るに至れり▲小林判事辭職 地方法院元山支廳判事小林茂氏は家事の都合上職を辭したるが二十七日午後八時出帆の咸鏡丸にて家族と共に歸國

大田

▲鐵道客 近來頻雨打續きたる爲め屢々湖南線不通を傳せられし結果湖南線全般に乘降客少なく當時列車の如きも數を減じ居るも尙ほ空席多き有様にて延ては本線乘降客少なく當時の三分一に滿たずと▲精米 近時市內に[illegible]

公州

▲水災被害 今回の增水は重に錦江本流のみにして他は左したる增水無かりし爲め其被害の度も前回に比し稍輕き模様なるが公州附近に於て家屋の全潰一破損二、浸水十戶田地の埋沒十八町浸水七十六町步畑地の浸水八十五町步の見積にして其他道路橋梁の破損甚しく目下復舊工事を取急ぎ居れり▲普通學校成績良好 忠南道內の普通學校は一般に好成績なりしが中にも洪城公立普通學校に於いて飼育せしものの如きは全く生徒の手に成りし[illegible]

◎ル氏立候補辭退表明

市俄古來電に曰く、ルーズヴエルト氏は一書を送りて大統領候補者に推薦せらるゝ事を斷然拒絕し進步黨大統領候補者として立つ事を辭退したり猶同氏は共和黨大統領候補者ヒユーズ氏を極力援護すべき旨を附言せり（倫敦電報）

◎米墨の調停如何

▲カ將軍と米國務卿 華盛頓來電に據ればカランザ將軍は南米諸共和國の調停を快諾すべしと稱せらるゝも米國々務卿ランシング氏は何等調停すべき事件なしとの意見なり（倫敦電報）

▲カ將軍は應せん 墨西哥藏相カブレラ氏は墨西哥假政府顧問ドーグラス氏に電報を送りて曰くカランザ將軍は軍事上現狀維持を要件として米墨調停に應ずる意ありと（華盛頓電報）

◎兩將軍妥協

墨國ヴイラ、カランザー兩將軍は妥協成り今後共同して米國に當る可く結束しつゝあり（桑港電報）

◎支那問題密議

廿八日內閣會議終了後石井外相大島陸相は別室に於て支那問題に就き鳩首密議する所ありたり（東京電報）

◎直轄學校職員

二十七日內閣會議を開き直轄學校職員にして高等官二等在職十五年を超えたる者は此際高等官一等に陞敍する事に決定したり（東京電報）

人事消息

▲道長官消息 水野調査の爲め大邱論山兩郡管內へ出張中なりし小原忠南道長官は三十日歸任の筈▲明治神宮へ奉獻 忠南唐津郡沔川面兪致興氏は地方に於ける特志者にて今般明治神宮へ金一千圓を奉獻せり

▲鏑木辰三郎氏（朝鮮新聞社長） 入京中の處二十八日朝退京
▲川井伝巳氏（代議士） 同上
▲木村米次郎氏（林學士） 入京中の處二十八日夜退京の豫定
▲永石光吉郎氏（土地調査局監査官） 同上
▲村川俊彦氏（東拓理事） 三四日前より病氣引籠中
▲山根武亮氏（陸軍中將） 二十七日夜入京南山町林田氏宅へ
▲伯爵李完用氏 廿七日夜京城より退京
▲宗本主計正 二十八日午前九時發列車にて元山へ

瀋陽より

中島生

○廿四日の早朝ボーイに喚び覺されたる頃には汽車既に奉天に近づき居たり。睡眼を洗つて身邊を整ふれば早や堂々たる奉天驛頭に著せり。時刻は未だ午前六時に達せず。直ちに驛內のヤマトホテルに休憩し、食事の後正八時馬車を傭うて奉天一日の視察にと出掛け申候。○先づ日本總領事館に總領事代理矢田七太郎氏を訪ふ。未だ寢中に在り一時間餘、起きるを待ちて面會す。對談久しく同氏は十年來の舊知也。十時過辭去し、城內なる朝鮮銀行出張所を訪ひ、小西氏、都留氏に面會し、更に東亞煙草出張所に保々氏を訪ふ。同氏は小生の爲め特に所員を附して視察の便を與へらる。商業會議所を經て三井物產に中村氏を訪ひ、滿鐵公所に米良氏と語り、正金には伊東氏不在の爲め會ふ能はず、南滿醫學堂に柳瀨幹事を訪ひ學堂及び醫院を視る、斯くする間に永き夏の日も時刻移りて所期の十一も視察を果さゞる內に保々氏と約せる午後六時となり、金城館に行く。此夜保々氏の招宴に於て小生の先輩にて滿洲日日の奉天支局長皆川君に久振りの面會を得たるは望外の幸たり。○此夕鮮銀の木村理事一行支那視察を了へ、長春方面より奉天に著す。小生の奉天行は木村氏と會する事其の所用の一半たり。木村氏梓山に席を設けて小生を待つ。到れば佐藤協和の兩氏も在り、小西氏、都留氏の外に朝鮮銀行出張所長鈴木氏も來り會す。歡談盡きず夜正に深更也。木村氏と同乘して宿に歸る。夜氣冷かに所々の蛙鳴の喈くを聞く。○明朝出發京城に直行致すべく、僅か一日の奉天見物も、得る所は夥からず、何れ歸京の上筆を執り申すべく、行動の筋書のみ如斯御座候（二十四日夜半奉天の客舍にて）

梅雨

●ヴェルダンは落ちても
＝二線三線が完備して居る＝何故の執拗な攻擊＝獨逸國內の媾和論＝露軍の軍器充實
——(某參謀談)——

ヴエルダン攻防も長いものだ既に五箇月間に及ぶ長日月間頻りに攻防せられてゐる長い間には矢張り一箇所死でも分派隊が奪取せられてゐるが係廢調子の激戰が續けられて行けば遂にはヴエルダンも陷落するかも知れない最近の情報に據れば其が近々の事かも知れないヴエルダン要塞は

▽最初から第一線 であつたら獨軍の供國に深く侵入してゐた時には戰線がグツと凹出してゐてヴエルダンのみが突出してゐた其後聯合軍側は次第に戰線を進出して今日の戰線に成つたのだが既に今日に於ては双方共數百哩に亙る戰線總てに對してまるで要塞でどもある樣な頑丈な設備を施してしまつてゐるし其に長日月の間ヴエルダンを據點として攻防してゐるのだから佛軍の方でも萬一の爲めに

▽第二線、第三線 は完全に準備されてゐる隨つて多大の犧牲を拂つて贏ち得たヴエルダンの隙穴から獨軍は直に堤を切つた潮の樣に濫入し得るかと云ふに決してそうは行かない第二線に引懸るし更にヴエルダン左右の堡壘にも一顧を拂はねばならぬ此意味に於て我々から見れば獨逸のヴエルダン攻擊は更に軍事上作戰上に意義を爲さず彼の

▽長日月を費して 爲されつゝある執拗な攻擊は目的を他に求めねばならない卽ち軍隊に對する志氣の昂奮、國民に對する人氣の昂騰—結局獨逸のヴエルダンを陷れんと死力を盡すのは全く對國內政策の意味のある事を認めねばならぬ一體獨逸は其事に非常に腐心してゐる議會でも開かれる前には乾度多少の犧牲を拂つても何處かの

▽戰線で優位を占める事に努めて來た例がある其れにヴエルダンを陷落さして置いて更らに其れに據つて媾和の足懸りを作らうとしてゐるのかも知れない然し聯合國は獨逸が何かの機會に於て若しくば機會を作つて講和しやうと苦心してゐると云ふ事は國內講和の必要に迫られてゐる事を證據立てるもので卽ち其度每に聯合國では敵の內兜を見透して『尙少し〳〵』と

▽各方面の聯絡 を嚴密にして緊張を繼續しやうとする卽ちヴエルダンが陷ちても媾和の落迄にはまだ仲々だと思はれる一方東歐戰場に於ける露軍の進出は稍々見るべきものが無いでもないが然し大觀すれば露軍はまだ自國內で戰つてゐるのである然し露軍の進出は事實果して如何なる程度迄進出してゐるのか各種の新聞の報ずる電報は餘程誇張されてゐるから

▽新聞電報許り では之を判斷するに苦しむが兎に角露軍に軍器軍需品の充實が行き渡つたと云ふ事は實際だらう其れに獨軍にしてもグツと露領波蘭に進出して滯き之を以て一段落として兵を廻して或はヴエルダンにも送り乃至墺軍をして伊太利あたりを突ッつかしてゐた譯はば東歐の獨墺軍は非常に手薄であつたのだ其處に

▽軍器の充實 した露軍が聯合して來たのだ處が最近に於て伊太利軍が多少優勢になつて來たらしいのは對伊墺軍が頻りに露軍の進出して來る東歐戰場に對して送兵されたと云ふ一面の事實を現はしてゐるのではないかと思はれる獨軍はヴエルダンの片付く迄は其盡に東方に全力を盡さないで置いて專ら墺軍に當らせて置く積りなのであらう恐くて露軍は何多少は進出し得るであらう覘—今日の戰場を見るに海上の事や

▽財政經濟の事 は兎も角として獨軍の優位にある事は正に七分三分の處にある若しヴエルダンでも陷落さして置いてグツト讓歩して講和の緒をつけるとすれば鮮くも五分五分位には行けそうだ此處こそは獨逸の狙ひ處なのでは無からう歟

實話 子故の犯罪 —1—

法律に對する思想の無い幼稚な地方の朝鮮人には全く人情から出た行爲が法律上の重い犯罪となつて取返しのつかない事になつた例が甚だ少くない。こゝに掲げたのは其一例で最近に京城法院で取扱はれた事件である。

貧乏な兩班蔡の倅の東秀と云ふ若者が注川の市場から歸りに蛇長谷と云ふ坂道で辻强盜に遭ひ、持つて居つただけの金をそつくり奪られて終つた、と云ふ事は狹い石山の村へは其の晩の內に知れ渡つた。

『一體何程奪られたんだらう。』

『何にあの人の事だから澤山の持金は無い筈さ、何んでもチヤリを一枚と繩を賣つた五十二錢を持つて行つた五十錢と併せて一圓許りの金だそうだ』

『二十七にも成つて敵手も一人だと云ふのに意氣地の無い男だ』など其處でも此處でも强盜の噂に花が咲いた、この噂の如く蔡東秀が奪られた金は銀貨と銅貨を取り交せて一圓であつた、東秀が蛇長谷で强盜に逢つた時は日が暮れてまだ間の無い事であつたから、爲つては居つたが人顔は瞭然と分つた、二尺許りの棍棒を振上げて脅し付けた强盜を東秀は二度や三度は確かに見た事の有る顔だと思つた、しかし其れが何處で逢ふた人であるか思ひ出せなかつた

蔡は家へ歸ると直ぐ其の足で最寄の利川憲兵隊へ出頭して强盜に遭ふた旨を訴へ、さうして

『其の男は年齡二十二三で色の白い面長の男で二度や三度は見た事の有るやうな男でありました』と付け足した。

暫くすると其の强盜は同じ栗面でツイ隣村北斗里の兩班の倅安宗烈であらうと云ふ噂が飛んだ。

斯んな噂が傳つてから安相烈の父安相錄は夜の目も眠れぬ程心配して居る

『困つた者だ、まさか强盜にまでは成るまいとも思ふが話の樣子はどうも息子の宗烈らしくもある、俺が一時の怒りに任せて、暫く折檻して勘當して終つたのが惡かつた、あんな倅は却つて膝許に置く方が苦勞が少い』と常平素は傲慢な兩班安相錄も近頃此の事で滅切り鬱ぎ込んで居るそうな顔ばかりして居る

安相錄は先祖から遺された田地や山林から上る收穫で贅澤な生活を續けて居つたので多くの兩班の如うに、此の頃俄かに新らしい仕事に手を出したり、贅澤な眞似を爲て落魄れ、喰ふにも困る樣な事もなく平和の世渡を營んで居つたが、倅の安相烈は子供の時から非常の我儘者で金さへ見れば無暗に欲しがるし、果ては盜み出してでも使ふと云ふ性分であつた、そのうへ四五年前から博奕を覺ゑて絕ゑず親父に世話を燒かせて居つたが、恰度去年の暮れ、賭博に負けて、眞裸に成つて歸つて來たので、父の相錄は非常に怒つて、散々杖で毆ぐり付けた揚句

『貴樣の如うな先祖の顔にまで泥を塗り付ける奴は今日限り勘當するから何處へなりと出て失せろ』と、門の外へ突出したが宗烈は其の儘家へも寄り付かず行衛知れずに成つて居つた

●ナ氏逝去
飛行中に墜落

飛行家ナイルス氏はウイスコンシン州オシユコシユ市に於て二十五日宙返り飛行中に墜落し二十六日終に逝去せり氏は同飛行前三日前に結婚式を擧げたるのみなりと(紐育特電)

●大越丸潜航艇に擊沈さる

マドリツド來電に曰く、大越丸(三〇九一噸)はスペインバルセロナ沖に於て潜航艇の襲擊を受け擊沈されたり、乘組員四十一名救助さる、同船は中越汽船會社所有の貨物船にして船長は松林伊八郎氏なり(紐育特電)

●馬賊に襲はる
芦洞憲兵出張所員奮戰して遂に擊退す

義州憲兵隊より二十七日警務總監部に著したる電報に依れば去る二十六日午後六時半芦洞憲兵出張所の對岸仙人洞に馬賊約三十名突然現はれ同八時頃同出張所に向け發砲せり同馬賊は對岸仙人洞の民家三戶を襲ひ金品を掠奪し家人に負傷せしめ引揚げの途中出張所前の江岸に散在し發砲したるものにて所員は之れに應戰せしに馬賊は日沒後姿を隱したり芦洞憲兵出張所員の發射數は五十三發にして馬賊の損害は不明なるも出張所には被害なし中江鎭憲兵分遣所長は應援を各所に發し警戒を爲したりと

●天候恢復の見込立たず

二十六日迄の天候は既報の通りなるが其後二十六日朝より二十八日朝に至りては江原道慶尙南北道に亙る日本海に面したる南東朝鮮を中心として朝鮮全道及び九州地方に亙りて一帶に豪雨と云ふ程に非ざるも

▽相當の降雨 ありたり其の雨量は二十七日後にて釜山五十五六ミリ元山京城木浦等四十五六ミリメートルにして北西方面になるに從つて雨量少く平壤に於ても二十六七日共僅少の降雨を見たるのみなり更に滿洲方面に於ては殆ど雨量少し目下

▽低氣壓の配置 は蒙古及び日本海に各優勢なる低氣壓廻流しあり且つ雨期の狀態として支那揚子江方面より滿洲朝鮮九州日本海等を覆蔽する廣袤幾千里の大低氣壓據瀰しあるを以て

▽一帶に陰鬱 の氣象を呈し其の間に於て各處に小區域にして濃厚なる低氣壓を滿起するを以て各所に雨量の多寡を現す事となり居れるが天候恢復は目下の處見込立たず高氣壓は小笠原附近の太平洋上に在り七百五十八ミリを示しつゝあり此の高氣壓

▽東支那方面に 迄に發達するに至らば天候恢復するに至るべしと二十八日京城地方の降雨は鎭南浦に現はれたる低氣壓の影響を受けたるものなりと京城測候所員は語れり(京城測候所員談)

●惠みの露 本紙記載貧なる一家(仁川花町)に對し[illegible]仁川支局に依托し來れり

龜浦附近の浸水

●各地水害

▲救助船の派遣 ▽避難民飢餓に迫まる ▽農作物の被害甚だし

洛東江の出水甚しく龜浦驛前の中島に浸水し人畜危險なりとの報に接し廿七日釜山警察署及び憲兵分隊にては直に警備と救助との爲めに一隊を組織し和船二隻に人夫數名と共に乘組ましめ急行せしめしが鐵道局にては同日一番列車を運轉し龜浦草梁間に臨時列車を運轉し前一に便したり(釜山特電)

▲龜浦の避難民 龜浦附近は二十六日一丈三尺餘に達したる增水は二十七日に至り約一尺餘の減水を見たる爲め稍愁眉を開きたるも降雨猶々として降雨歇む模樣なきより釜山より出張せる橋本署長野津分隊長堀東萊署長等は學校組合水害救護事務所と連絡を取り嚴重に警戒しつゝあり目下附近浸水地より龜浦に避難したる者は本願寺に五十餘名廣田氏倉庫に廿名に達し又現に浸水家屋の屋上又は丘陵に避難し龜浦より炊出しの施與を待つ光景慘狀を極め居れり

▲向島七分の浸水 龜浦の前面なる向島卽ち大渚面は浸水七分に達したるより龜浦學校組合及び東萊郡廳より炊出しを開始し廿七日は一人五合宛約一千人分の握飯を傳馬船にて罹災民に配與する事に決し又附近一帶飮料水の缺乏を來したるを以て龜浦驛に交涉し同驛タンクに貯水しある汽關車用の水を一般被害地に配給することゝなれり(二十七日龜浦)

▲三浪津附近 二十六日夜より一尺七八寸減水したるも尙ほ市街並に田圃一面は宛然海の如く鮮炭飮料水は釜山及び草梁より列車にて輸送供給を受けつゝあり(廿七日三浪津)

▲農作物損害 農作物被害の程度は未詳なれども廿四日以來滔々たる濁流の中を刈り上げて畑中に置きたる儘の麥が斷絕して流れ行くを見たれば其損害のみにても決して少なからざるべく其他一般農作物の被害を合する時は莫大なる金額に上るべし(廿七日龜浦)

▲金海附近 浸水は減水せず僅に附近の堤防決潰箇所より濁流滔々として浸水しつゝあり龜浦郵便所にては通信上事務を果すため二十六日午前十一時金海郵便局に送致すべき郵便物を屆強なる遞送夫をして遞送せしめたるが未だに歸局せず(二十七日龜浦)

▲馬山支線の故障 馬山支線進永、三浪津間の線路は浸水增加し線路は既に絕對に徒歩困難となり洛東江驛は水中に沒したり更に洛東江の鐵橋附近にては線路三十餘間流失せり復舊工事は減水後に非ざれば着手せられず從つて減水後も馬山線の開通には今後一週間を要すべく其期間は船にて貨客の連絡を取る事となるべし

▲村井農場無事 進永の村井農場は先年大規模の堤防を建築し何人も其安否を氣遣ひたる處にて若し該堤防にして決潰せんか巨萬の資を投じたる村井農場の損害は元より同時に被る附近農民の損害は一層慘澹たるものあるべき處ありしも幸に大した被害なく經過し來りたるが廿七日朝に至り堤防の一部三四坪が決潰したるより村民協力死力を盡して應急修理を爲し無事なるを得たり(廿七日三浪津)

▲勿禁及び梁山 慶南勿禁附近は浸水今尙ほ減せず郵便所は勿禁驛構內にて臨時事務を執りつゝあるが附近一面湖水の如し梁山附近は廿六日午前十時邑內の一部より勿禁まで殆んど全部浸水附近の橋梁は全部墜落し尙ほ廣瀨農場其他農場何れも浸水せり(廿七日梁山)

▲洛東江上流 慶北漆谷郡倭館面錦山洞洛山洞錦南地方を流るゝ洛東江上流は著しく增水し沿岸の部落鮮人家屋にして倒潰せしもの六戶床下浸水十六戶同郡石積面內にて家屋の流失內地人一戶鮮人四戶家屋の倒潰五戶床下浸水九戶同埋沒三戶同半倒十二木避難民の溺死者男一人ありたり又仁同面の鮮人家屋にて流失せるもの一戶浸水三戶なりしと(廿七日倭館)

▲金泉尙州間道路 慶北金泉尙州間の二等道路は暗渠の破壞面の崩落等にて自動車の運轉は勿論車馬の交通未だ復舊の見込み立たず爲に急用者は郵便遞送人同樣或は山腹を辿り或は激流を徒涉し十里の道を二日掛けにて通行する慘狀を呈せり(廿七日金泉)

●嫁の嫉妬渡鮮 [illegible]より萬槌は大いに喜び孫の育ての仲[illegible]受け[illegible]不動產を賣却し五百圓を懷中[illegible]別莊を新築せんとて足利公園に隣接[illegible]

天氣 曇但少雨 六月廿九日

度七四五粍、進行方向東、警戒區域咸鏡南道南部(咸興、定平、永興、安邊、德源)[illegible]

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
世界的大寫眞「ハート」の3 [illegible]

本町 壽座 電話五七八 [illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番 [illegible]

世界的大寫眞 大冒險大探偵大活劇 「ハート」の3 全五十卷の內今週十卷上場 映寫時間午後七時三十分より

新劇 寶藏院覺禪坊 內容充實たる 大正館

御成町 御成座 電話二九一 [illegible]

黃金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) [illegible]

滿鮮 第一 鴫屋本店 京城明治町 漬物東京屋

村井弦齋先生發見 胃腸病 胃癌 妙藥 タラコン湯 需用激增工場新設 藥効確實診療開始 (移轉) 無量壽藥園 東京小石川 振替東京二〇〇〇二

◀書籍御案內▶
蒙古通志
蘇峰文選
大正政局
撞球指南
乃木大將
乃木大將
高杉晉作
元田先生進講錄
發賣所 京城日報代理部 電話六六〇番

一 工事請負
南山町明治町消防器具置場及詰所增築工事
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府ニ於テ國稅、地方費、學校組合費、年額拾圓以上納稅者ニ限ル
大正五年六月二十七日 京城府

一 工事請負
古市町道路砂利敷工事
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府ニ於テ國稅、地方費、學校組合費、年額拾圓以上納稅者ニ限ル
大正五年六月二十七日 京城府

……養子を迎へキフ（二〇）と一子を儲けし一夫婦に當り散らすより幸一夫婦は辛抱も切れず實父よ本實ひ……

◉古代器物發見 栃木縣足利郡町小川幸三郎（六三）は……組、金椀二箇、勾玉七箇、小玉五十數……箇其他を發見したれば足利署に屆出したにも拘らず……名の大正四年度分……税を納め……未納なりと稱し更に……

◉琴風衛報（六月廿八日午前九時卅分發）……強かる可じ、低氣壓位置元山沖、同示

新來の珍客

□海驢とコブラ□

◉昌德宮動物園に 昌德宮動物園の此の頃は秘園の青葉に鵜の鳴聲が聽ねてなか〳〵涼し相な眺めとなりました

□新來の客には仁川水族館でお馴染の海驢と恐ろしい印度産の毒蛇コブラが居ります

□海驢は鷲のお隣、樋の水が噴き落ちる水槽のほとりにキヨトンとした面附で休息して居りました

□コブラの毒蛇は場所が無いため河馬の居る室の箱の裡に居ますが御馳走は鼠に青蛙など、怒ると例の圓形の頸を膨らしつゝニユツと鎌首をあげる先生です

□また河馬の一人息子は昨今非常に大きく肥り、毎日廣い水槽の中でお母さんと二人水泳をやつて居ります

□評判のライオンは昨年産れた仔供がモウ犢牛ほどの大きさとなり二匹の牡も一匹の牝もギラ〳〵した眼光で檻の外面を睨むで居ます

□倍度その時數頭の山羊を伴れた係の人が通りましたところ親子五匹のライオンは何れも飛び蒐るやうな態度で山羊の行方を凝視めて居ました

□樺太の馴鹿はまた『京城は莫迦に暑いな』てな面附でウオー〳〵と吠えて居ました

□お隣の狸殿はまた什麼いきさつが起つたのか二匹共眞赤になつていがみあつて居りました

◉家族避暑に適した 馬山海水浴場

△馬山は空氣のいゝ事、景色に富んでゐる事に於いて南鮮一であると言はれて居ります。海に山に緑のやうな美しさの溢れてゐる馬山の人には内地の田舎に見るやうな質朴な氣風があります。

△此の意味から家庭的の避暑地、海水浴場としては適當の所であると思ひます。

△海は大へん深い入江になつて居りまして何時でも湖水のやうに靜かである上に遠淺でありますから、海水浴には最も安全です

△京城を朝立ては夕方三浪津で乘換へて晩の八時頃には着きます、宿屋も家賃も諸物價も京城に比して餘程廉う御坐います

◉歐洲戰況視察に赴く漢那中佐

□琉球が産んだ新人物□

◇過般朝鮮ホテルに投じた財部海軍中將は朝鮮の各學校を參觀し又後半島に於ける鮮人教育の進歩せるを見て『將來は朝鮮からも漢那中佐が出るぢやらう』と申されました

◇漢那中佐は琉球が生んだ近來の新人物で我海軍部内の錚々たる好參謀であり升

◇今日でも琉球に往つた人々には誰でも土地の者から漢那中佐の自慢談を聽かされないことはありません、それだけ中佐は琉球の新人物として郷黨から囑目されつゝあるのであります

◇維新前後の我國と琉球の關係、これを現時の朝鮮と比較して見ると財部中將のおはなしは大變意味深き言葉であると思はれます

◇前提が甚だ長くなりましたがその漢那中佐憲和氏は廿八日京城通過歐米各國の戰況視察に上りました

◇中佐は航海術に於て海軍部内に有數の人物殊に海軍々令部に入りても森山少將からその才を愛せられて居りましたが猶ほ海軍大學教官の要職にもありました

◇今回北海に於ける英獨大海戰の經驗は將に世界の海戰史上に一新紀元を劃せんとして居ります

◇中佐が此の行により獲るところは蓋し尠少でなからうと思ひますが何しろ新附の琉球から斯る新人物の出ましたとは興味多きことと申さねばなりません

◇中佐は舊琉球王尚侯爵の令妹を娶り年少奈良原知事の推薦を受けた人であります

◇日本海軍の將來の舞臺が南支那海からズンダ海峽のあたりに延びて今日の國勢に洋上の一藩國から僥倖人物の現れたとは洵に意味多きことと言ねばなりません

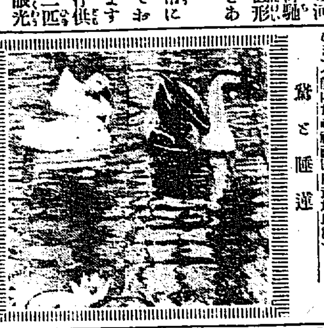
◇淡盛酒と琉球紬にお國自慢の琉球は今また海軍士官の一名物を誇ることとなりました

◉千歳の命のぶ祓

▲『水無月のなごしの祓ひする人は千歳の命のぶといふなり』と古歌にある如く祓は時氣の惡趣をうけて心身の清淨を保つ法であります

▲長くもわが皇室に於かせられては六月三十日と十二月三十一日とに莊嚴なる祓式を行はせられます

▲故事によれば素盞鳴尊が黃泉國より還り給ひたとき身の汚穢を御祓ひ給ひしに始まると云ひます（龍山加藤神社國內式雄氏談）



鷲と睡蓮

◉パゴダの演奏

パゴダ公園の第四回演奏會は二十九日午後八時から公園の音樂堂で催ふされます、演奏者は李王職音樂隊、曲目は次の通り

行進曲ヒヤシントン通信（ソーザ作）▲長唄、黒髮▲ワルツ曲、ドナウの河波（イワノウヰツチ作）▲隱谷の盜足（コンラト作）▲劇曲トルバトル作役（カヱリテ作）▲撰火舞曲（マイエルベル作）▲序曲甚漢の聖石サムパ（ヘオルト作）▲端唄紀伊の國▲射手のカテリレ曲（スナワツ作）▲西班牙の舞踏行進曲（ロイカ作）▲君が代

◉本町線の複線工事

本町一丁目から總督府醫院前に通ずる電車線路は一週間ばかり以前から軌道の複線工事が出來ありました完成までには長日子を要すると思はれ外が從前の單線に比し大層便利となりました

◉勞働紹介事務所

預て若草町にあつた京城勞働宿泊所の山鹿氏は當地日出町東隣に事務所を設け無料勞働紹介部を新設しました、此所で取扱ふのは一般内地人の居員、下女、見習、傭添、看護婦、手傳女等の世話から鮮人側の苦力、職工、徒弟、小僧、勞働諸種なども無料で取扱ひます。また近く婦人ホームも設ける由

◉松原監督歸京

湖南線地方巡遊中なりし西本願寺松原監督は各地出張の豫定を終へ二十七日後歸京されました

番茶のあとで

總督府醫院の川度課で長谷川さんと向ひ合ひに腰を卸した大枝庶務課長は二人で頻りに電球の研究を始めて居られました▲そこへ長谷川さんが最新式の廿五燭二色硝子電球といふのを持ち出して▲これは應接室などに誂へ向きだが京城にはまだ無いやうです▲ハヽアン左樣で御坐るかといふやうな話から序に電球の端にはなぜ尖端を拵へるやらうと大枝さんは不滿らしい面をなさいました▲『サア』と云ひながら長谷川さんは默つて居りますと『先日も尖端で此の通り負傷した』と御自分の五十燭光をつるりと撫せられたので大笑ひとなりました

□鱧の蒲押 鱧を三枚に下し皮みむき 卵の上に紫蘇の葉をなしき鱧をかふくなし其上に館なおき又鱧なし紫蘇にて被ひ巻い盛ぐ細きものにて鍼ひおもしなおき暫くして刺身の如く切り皿に盛り合せ醤油さわびを添へて出す

—△會いろ〳〵▽—

□伊澤先生講演 二十八日午後三時より京城高等女學校にて開催の學校衛生講習會に伊澤修二氏の講話には京城各小學校教員全部出席聽講したり

□手藝會 女子高等普通學校の附屬普通學校にては來る七月一日の土曜日午前十時より三年生主催の學藝會開催

□青年會歡迎會 南大門通基督教青年會にては二十八日午後七時より坂出技師の歡迎晩餐會を開催

□和歌の會 京城高等女學校にては昨日來京した及び宮原殿醫の發起にて毎月一回和歌の會を催さるゝこととなりました、會員には勅任級の大和田先生始め婦人の人々も多いやうです

神社と教會とお寺

○龍山加藤神社（八島町） 三十日午後三時より和歌池畔にて大祓式あり當日は參詣人一千人を限り大祓形代札を無料頒布する由

○日本基督教會（長谷川町） 二十九日の午後八時半より最近渡朝した長老教會堀牧師を歡迎會あり

○開教院（大和町） 新任開教區理事吉村立證氏は二十七日午後九時南大門驛列車にて入京されました

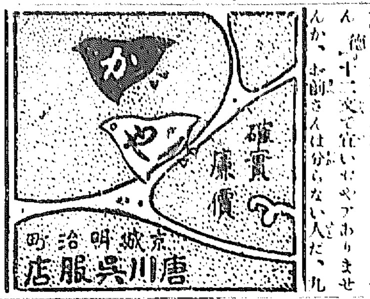
婦人界消息

△小泉はる子（女子技藝學校講師） 今回御辨の爲め學校を退かれました

宮本武藏

第八十三回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

スルと外の一人が其へ出て『止しねへ〳〵旅籠屋へ來て宿帳にチャラツポコの事を附けさせるのは身に惡事を犯した覺えのあるものに限らア江戸ッ子と云へば花川戸の幡隨院長兵衞だとか、坊さんなら弘法大師だとか、婦人なら小野の小町なんて下らん話しだ、俺達八人が立た後に江戸に何樣な間違がおるめへもんでもねへ、其時に人を探しに出す、其使が頼寄にして來るのは此の宿帳だ、何月何日に何所々々の宿の宿屋に泊つたから今日は何所へ乘込んだらうと云ふ當りが附くのだから、何も惡事のねへ者がチャラッポコな事を言ふにやア及ばねへよ、ネー宿役人さん……』役『其は仰ッしやる通り其に違ひはございません、ドウか正直のことを願ひます』△『宜しい今俺が云ふから附けなさい、マア其に就て御宿役人さんに伺ひます 役『ハイ △『吾姓名から申せといふからお前さんの姓名を聞からとするには 役『私は當宿の八右衞門と申します △『ハー幾才におなんなさる 役『四十二才で △『厄年だネお氣を附なさい 八『有難う △『子供がおりますか 八『二人でございます △『男ですか女ですかい 八『二人とも男で △『其は好い子持だ、お内儀さんはお幾才で 八『御冗談仰ッしやつては可けません、何方が附けるのだか分りません △『アハヽヽ、嚇うですな、私は芝高輪曲輪町で…… 八『へイ高輪曲輪町で……』△『茶屋で——葉茶屋です、待合茶屋ではないんです 八『ハア左樣でお名前は何んと……』△『名前は岩井四郎右衞門 八『へエ岩井四郎右衞門』△『其は名主の名前だ 八『名主樣のお名前は宜しうございます、貴方のお名前を……』德『私は德兵衞と云つて年齡は四十五になります女房が一人ありますよ 八『イヱお配偶は宜しうございます、御同勢はお幾人で 德『總體で八人です 八『左樣で、同行八人樣、お疲れさまでございませう 八『エ、籠錢代を頂戴仕ります 德『ナニ 八『籠錢代を……』〇『オイ〳〵德兵衞さん分らないのか、籠錢代を知らないのか、錢はフデで罷は又だ籠錢の代を呉ろと斯ういふのだ 德『ヨシ〳〵幾許です 八『エ、お一人前二文づゝで 德『二文結構お待ちなさい 八『是は二文でございます 德『一人二文と仰しやるから上げたんで 八『お一人宜いぢやア有りませんか 八『お一人前二文づゝ八人前頂戴仕ります 德『其ぢやア八人附けてお呉んなさい、私を唯だ一人附けて同行八人として八人前取るのは些と遠ひませう私一人を附けたから一人前で宜いのでございませう 八『其は如何にも御道理でございますが、御同伴樣が二十人でもお一人前のお名前を附けて餘は同行何人として、其お同伴樣の頭數だけの籠錢代を頂戴いたしますのが規則なんで 德『規則ぢやア仕ようがない、金殿上州へは泊るなと云つたが、なる程油斷の出來ない國だ 八『エ、是は十二文進げますからお持ちなさい 德『十一文で宜いのぢやアありませんか お前さんは分らない人だ、九九を知らないね、二八十六文ぢやアりませんか 八『御冗談ばかり、二八十六で十二は二六です 德『然うですか、ネー吉兵衞さんの前だが道中はするものだ、高崎へ來るとモウ九九が違はア、イヤ大きに御苦勞さまやア十六文上げますから持つてお出でなさい 八『へエ有難うございます』と宿役人は出て往つて了ふ、後では江戸ッ子連中、ツア〳〵云つて頻りに馬鹿口を利いて居る、武藏先生は耳を引立て聞いて居たは、岸柳師弟三人を殺害して江戸表を出立する時、高輪の吉野屋德兵衞方で旅支度をした、其の吉野屋德兵衞には久しく逢はないから、色青は忘れたが先方は大勢だし泥醉つては居るがヨシ〳〵斯ういふ工合にして先方から此方へ來るやうに仕掛けてやらうとガラリと障子を開けて廊下へ出て武藏先生が武『ア、宿役人〳〵 八『ヘイ 武『俺の名前を附けたかナ 八『ヘイ附けました、梅の一番樣で 武『ン、間違へて呉れるな、宮本武藏と附けたらうナ 八『へエ宮本武藏樣と附けました



六月三十日九星　舊六月朔日戊戌　木命二黑坤定赤口

▲二黑 目的のたゝぬ誘はれ事有り……▲三碧……▲四綠……▲五黃……▲六白……▲七赤……▲八白……▲九紫……▲一白……

商況

東京株式特電

[illegible]	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

朝鮮物産特電

雜報

◉毛斯綸上向 押味一時下 上向の傾向

各地商況

◎釜山（二十七日の穀物）

◉曲折波瀾を免れざる可しと 今秋頃は多少の……

◉片栗粉産地氣弱

◉綿糸は漸騰

引上 約一圓方

◉晒木綿昂騰

二錢高の見當 一錢五厘乃至

◉氷價は區々

◉精米ヂリ〳〵小締

下關相場

京城正米

南大門の廻穀

仁川現物市場

生魚市場

利 仲買店　仁川米豆取引所仲買人

仁川期米

▲二十八日前場 電二節尚同事多て…… 昨止同事の入

市場零聞

▲依然保合ひ

▲月末戰如何

▲受渡は多少增減

▲暗中飛躍

▲肩代に云爲

▲自己の勢力範圍に加

▲正米と期米

▲瓦落に反した正米は一約一圓切

▲向引弛

▲演じた正期米の鞘寄

▲不可能を正米蒐集

内行は掛米の商

▲妙味は難平買

反つ割安地

▲力策戰の硬軟兩派の買

仁川米豆取引所

二十八日の八月限

小賣白米

確實　迅速　マ　廣瀬正太郎

北濱だより

ライオン歯磨本舗 新築成る

隅田川の中流、本所厩橋の畔、清新なる現代式建築を仰ぐ。

ライオン歯磨本舗小林商店の新築功成つて、東都江東厩橋畔に清新なる今様建築の立姿を現はすやうになつたのは、幸先目出度い本年五月五日であつた。

是より先、ライオン歯磨本舗所屬の小石川久堅町にある歯磨工場は、去年の五月に類焼の厄に遭つて、それ以來、臨時急設の假工場で、晝夜兼行の作業を續けて、引つ切りなしの注文に應じて來たが、それでは迚も應じ切れないのと、一方神田柳原河岸の店舗も、二十有五年前の創業當時の施設に年々必要から取り擴げて行つた儘の言はゞ一時的の事務所に過ぎなかつたから、工場店舗共に改築の要あるは、業に既に小林商店の内外周圍から迫る所の事情で、自他の認める所であつた。それを今日まで辛抱してゐたのは、

先代小林富次郎翁の固い信仰生活

から來た質素堅實な遺風にも由るのであつたが、然も故翁歿後のライオン歯磨はます〳〵發展して、其名聲と實力とを現實に贏ち得た結果は、どうしても從來の施設では事務の簡捷、事業の敏活を缺くものがあつた。それをいつまでも忍んでゐることは却つて故翁の精神にも悖る譯であり、また小林商店の固よりの趣意でもなかつたのであるから、愈々茲に新築を決することになると、工事著手の日から、大に能率を増進して、僅一年あまりの間に、物の見事に立派な建築を建て了せてしまつた。それも小林商店の平素の營業振りを遺憾なく發揮したものと見て、實に對照の面白いものがある。斯うして小林商店は、新しい建築に、常に進んで已まざる新しい精神を移して、更に江湖の博大なる需求と、多大なる期待とに酬いようとするのである。

今引き移つた新築の鳥瞰図

を示すなら、本舗事務所は洋風二階建の煉瓦造で、こゝに見られる通りの宏壯清新なる建物である。此建物の中で全世界に行き渡るライオン歯磨の販賣取引が取り扱はれると思ふと、ちよつと驚かされるのである。

二階から露臺に登つて展望すると前を流れる隅田川を見越して淺草下谷日本橋の下町あたりから、後に本所深川の各區が間近に眼界に入る。記者は不圖林子平が海國兵談に、此大川の水がロンドンのテームス河にも續くと喝破した時代の事をおもひ出して、ライオン歯磨の船もこれから世界のどんな果にまで行くのであらうかとそれを想像して何だか自分の小さい胸まで廣くなるやうな感じがした。――それから

ライオン歯磨化學研究所

へ案内されると、こゝは亦用意の到れるもので、化學用の試驗器具から藥品類一切を網羅して剩す所なく、研究所の一部である天秤室の装置でも實に複雜を極めたもので、あの一袋二錢五厘の歯磨を製造するのに、これ程の愼重な設備が要るのかと一寸局外者には怪しまれる位である。之を見ても、ライオン歯磨が常に、粉末の細微、分子の均等を標榜して誇としてゐるのには、深い自信と根據とのあることを認めずにはゐられない。――それから更に工場へ行つて見ると、廣々とした二階建幾棟の明い陽氣な室が、所謂小林式歯磨製造器械を据ゑ附けて、今や廻轉運しと待ち受けてゐる。（記者が行つた時はまだ小石川の舊工場から器械附屬品が移り切らないので、運轉が始まつてゐなかつた。）記者はこんな快活な

美しい室で勞働の神聖

を現實に味ふ幾百の工女はどんなに幸福であらうと思つた。

ここで製造される歯磨は、品質の絶對優良であることは言ふ迄もないとして、數量の鉅額な事も亦世界に冠たるもので、一例があのライオン歯磨の小袋入に附ける一枚一厘の慈善券なるものが、去年の報告で十四回を重ねて、總合計貳拾貳萬五千圓に上つてゐるのに照らしても、其莫大な事が知れるのである。

此「慈善券」のする爲事がなかなか大きい。諸君は一枚一厘の慈善券を何だと下げすむだらうが、まことに「塵も積もれば山となる」とある如く諸君が心なく屑籠に投げ捨てた一枚一厘の慈善券が、何處かで誰かの手で掻き集められて、諸君の知らない間に、大きな慈善事業を助ける少なからぬ金となるのは、ここに説くまでもないことで、それが小林商店に於てはライオン歯磨製造工程の副産物と謂ふに過ぎないものである。工場の次に記者は夜學校と云ふものに案内された。記者は先刻化學研究所を見たとき、歯磨の製造に果してこれ丈の準備と材料とが要るのか知らんと一たび怪しんで係員の説明を聽いてから、初めて成程と頷いたのであつたが、今復此處に來て此夜學校を見るに及んで、ほんとうに驚かされたのである。今まで工場と云ふものは總て穢い暗い所、そして之を道徳的に謂へば更に不健全

當主小林富次郎肖像

な所と、斯う私達も世間も共に見縊つてゐたのに、ここの工場は明い陽氣な室で、しかも其上に工女に

精神教育を施す夜學校

の設備までがあると聞いては、全く驚嘆せざるを得ないので、恐らく他に多くの例を見出さないところであらう。

記者はこれ以上紹介の言葉を費す必要もないのだが、小林商店の店則には『精神修養』と云ふ條項があり、また店員は必ず日曜毎に基督の教會に參集する義務があると規定してあるさうだ。此一事丈でも工女の取締や教育や、また其間に養はれて行く彼等の善良なる習慣性質に就てまで略愉快な推測がつくのである。だから彼等の勞働狀態は全く模範的で、日頃の趣味娯樂とする所のものも、よその外の工女達とは大いに異なるものがあると云ふ。尚ほ其他若い店員の爲めに設けた寄宿舎なども清潔で堅固で、何から何まで親切な注意の行き届いたものを見るのである。記者は丁寧な係員の案内と説明とに滿足して、ライオン歯磨本舗を、せいせいした氣持で外へ出た。厩橋は頻繁に電車を馳らし、隅田川は盛んに運輸の機關を利用してゐる。蔚然、雜然、あらゆる世界の音響がこゝに調子を揃へて、小林商店の現在と前途とを祝福するやうに聞ける。既に歸途の電車に乗つた記者は、係員から貰つた

ライオン歯磨の歴史

と云ふ小冊子を取り出してみる。之でみるとライオン歯磨の工場は群馬縣の磯部にも、「小林製藥所」と云ふ名で、專ら原料などを製出する分工場が一つあるやうだ。支店出張所も大阪、名古屋、支那天津、漢口、印度孟買などにある。製品も記者等の親しんでゐる粉歯磨の外に、煉製、水製、それから印度向の石炭酸歯磨と云ふものなどがある。

記者は事の序にライオン歯磨の歴史を自分の覺え書にするつもりで雜と拔いて置く。

ライオン歯磨本舗の創業は、明治二十九年即ち西暦一八九六年の七月とある。

其時分の歯磨と云つたら、所謂磨砂まじりの不衛生と云つたらない――そりや大切な歯の琺瑯質を磨り耗らして行くのだから、實に危險極まるものであつた。それを今から思へばよくまあ、あんな、大膽な事が行はれたものだと悧れもするし、ぞつと戰慄がするくらゐである。

それで小林商店では、早くから一般國民に歯を大切に守るやうにさせたいと云ふ精神から、こゝに最初の發賣の動機を捉へて、「廉價の良質」と云ふ方針から

最良の歯磨を最廉に提供

することになつたのである。それも最初の程は、原料の取合せや製法の手順に於てさへ、なかなか苦心の存するものがあつた。それも其筈、今から二十五年も前の事だから、製造工藝の發達も、今日のやうでないのだから、其時に於て、外國品にも劣らぬものを作り出さうと云ふ企ては全く容易の業でなかつたに違ひない。

それが段々に改善を重ねて、原料の特撰、製法の革新、器械の改良など、總て「小林式」と云ふ最新と最良とを意味するものを那ゐて、多くの歳月の間の經驗は遂に今日の無類理想の歯磨を製出するに至つたのである。

其間には分析試驗室の設置もあり支店工場の增設もあり、また明治三十八年には、店主先代

小林富次郎翁の歐米視察

もあり、いろいろの事があつて、ライオン歯磨は世界に發展もし、愈々改善の上の改善も施されたのである。

であるから明治三十二年（製造の翌年）から、殆ど毎年一回乃至數回日本又は世界の何處かで常に開催される博覧會、品評會の類に出陳して一等賞、名譽賞、金銀牌などの受領は數知れぬ程澤山の數に上つた。其金牌丈の數を擧げても

明治四十二年	沙市太平洋博覧會	金牌
同 四十三年	倫敦日英博覧會	金牌
大正三年九月	横濱共進會	金牌
同 七月	東京大正博覧會	金牌
同 十月	瓜哇スマラン博覧會	金牌

と隨分ある。それ故にライオン歯磨の行き渡らぬ地は、もう世界になくなつた。殊に明治三十八年先代第一回外遊の時、約一年間、歐米諸國の同業者を歴訪して、仔細に其營業振りを視察し、種々の機械原料等を直輸入させるやうに各地にそれぞれの機關を設け、且つロンドン、シカゴには特約店を置いて歸つてからは、ライオン歯磨は年年盛んなる輸出發展を見るやうになつた。由來、歯磨の高等なるものは、皆外國品であつたが、是に於て、初めて内地品にして外國に輸出して誇るに足るべき歯磨を得たのである。

明治四十年先代は第二回外遊を試みて、特に東洋貿易振興の爲め、親しく支那、印度、及び南洋方面を視察し、其結果天津、漢口、上海に支店出張所を設け、ボンベイ、マドラス、カルカッタ、ラングーン、コロンボ、シンガポール、及び香港に代理店を置き、益々輸出販賣の途が開けて行つた。それのみならず近年ではメキシコ、ブラジルの方面へも多數の輸出を見るに至つたとは愈々目出度い。

記者は『ライオン歯磨の歴史』を拔きつゝ、つくづく思つた。ライオン歯磨は主要原料とするものから言へば、何の手數もかからないやうであるが、一度其原料の取扱方を考へると、それはどうして容易の事ではない。先づ其原料を得るのに、

どれ位入念の試驗分析

が要るか知れない。やつと原料が[illegible]離に整ふと、それを一定の順序で混轉機だの、篩過機だのと云ふ特別な器械で幾回も取り扱つて、今度はいろいろの藥劑、香料、色素などの配合となる。それがまた一度や二度の手數ぢやない。むづかしいと謂はうか、嚴格と謂はうか、隨分並の知らぬ骨の折れるものである。

斯うして市場に送り出されて、それで世間の賞讃を受けなくてどうするものか。ライオン歯磨が

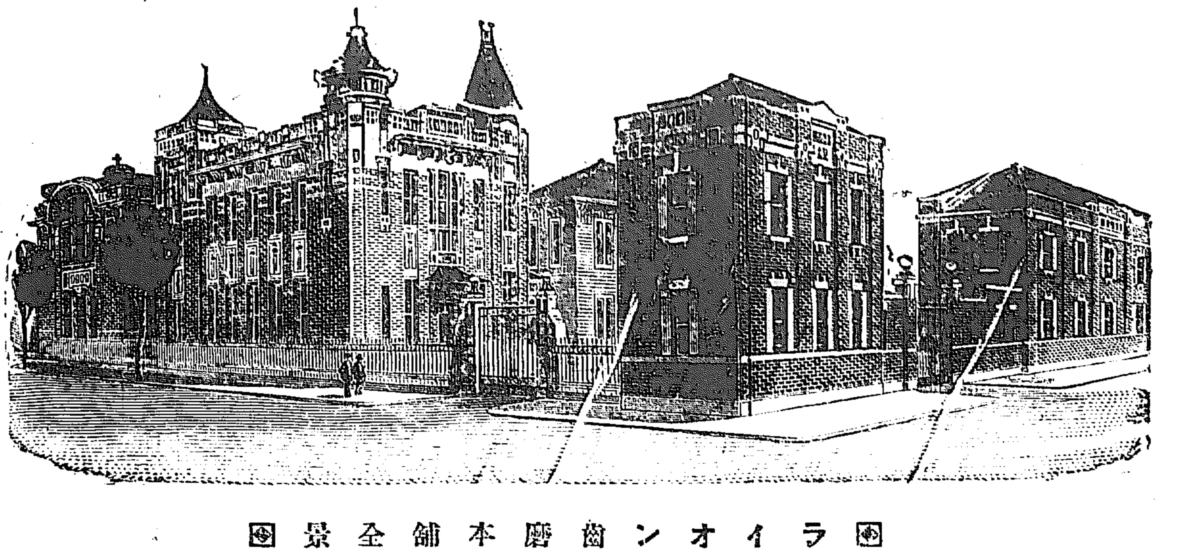
工場の完備

――即ち化學試驗所の設備やら、製造器械の完全やら、技師藥劑師の手揃ひやら、總て大仕掛の中に、ちやんと統一した其部分部分の整頓があつて、最大量の歯磨を最大數の愛用者に一人の非難なしに提供することの出來るのは、全く此工場の完備に由るので、また實にライオン歯磨の今日に至つて愈々好評を加へ、益々盛大に赴く所以であらう。

殊に近年では

ライオン講演會

と云ふ全く公共の爲めに盡くす一組織を立てゝ、全國各地の諸學校生徒、各種工場の工男工女、又は一般の都市村落の青年、或は衛生會教育會などとも聯絡を取つて、專ら彼等の爲め、國民としての衛生――特に歯牙口腔の衛生普及に就て、或は講話演説し、或は幻燈映畫を以て懇切に説明する歯科醫師の一團を派遣して、東奔西走只管效果の擧がらむことに熱中してゐるのである。それが爲め全國の歯科醫師、諸學校の校長、又は郡長町村長など、孰れも一行を歡迎して到る處諸種の便宜を與へ、會場を開放して講演會を開催せしめ、ライオン講演會の名稱と足跡とは、日本國中殆ど行き渡らぬ限もない勢で、今現に中仙道を巡廻して（本年四月以後）目下山陰道に移り、いづこの會合にも必ず數百數千の多數を容れて、有益なる講演は聽衆の喝采を收めてゐると云ふ。



ライオン歯磨本舗全景図

京城日報

第三版

廿九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價 本紙一部金五厘 一ケ月金六拾錢
發行兼編輯人 丸山直 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

仁川米豆取引所

△取組減少す 先物は一時八萬五千七百五十石

●奔馬の轢死 二十六日午後四時二十六分龍山驛發の南行混合列車が同驛を距る約二十町位の箇所に

●墜死 府成川郡通仙面玉井里 羅永其妻崔永三(五〇)は過般附近の桑の古木に上り桑を摘み居る中枝を踏み折りて墜落し全身に重傷を負ひて

京城日報　林業

天然生稚樹の禁養造林は、植栽造林と相俟つて治山上極めて緊切のことたると共に、之れが經營は又た將來頗る有望の事業たるを失はず。抑も朝鮮の林野面積は一千六百萬町歩を算し、全土の七割三分を占むるも、其の比較的交通便利なる地方に在りては夙に荒廢に歸し、成林地として見る可きもの甚だ少なり。然れども全土の林相を大觀するに未立木地は僅々二百萬町歩にして全林野面積の八分一に過ぎず、之れを成林地の五百萬町歩、稚樹發生地の九百萬町歩に比較すれば、荒廢の度必ずしも憂ふるに足らざるを知ると同時に、全林野面積の過半を占むる稚樹發生地の禁養造林は、極めて重要の事業たる事を推察するに難からざる可し。各地に分布せる稚樹の發生地は、昔來の濫伐に依る松樹偏重の結果と、地元住民の燃料、緑肥等の濫採との爲め、今日までは其生育甚だ不良の如くなるも、之れ等山地の大部分は地味痩惡ならざるを以て禁養宜しきを得ば、頗る良好なる成長を開始し、所謂少費成林の目的を達し得可し。

元來天然生稚樹の造林は、植栽造林に比し其の收益尠きは論ずるまでもなけれど、禁養造林は資本を吸收すること少きが故に、廣漠たる荒廢山野の林相を速成するには、正に一便法たるを失はざるべし、殊に稚樹の發生地には概ね各種の有用樹種を網羅せるを以て、其の成長するに從ひ、漸次劣等の樹木を間伐し、又蚜蟲其の他の蟲害多き地方に於ては之を除伐するに於ては追年其の林相を改良するを得可く、斯くて相當の期間に達せば其收益鮮少ならざるべし、之を要するに天然生稚樹の禁養事業は、施設簡單にして經營比較的容易なれば、單に之れに而已從事するは一考を要する處なるも、或は地元住民が農事の副業として、或は造林家が餘暇の事業として其經營に從事するは將來各自を利する處鮮からざるべく、治山政策上緊切の事業たるは勿論、延ては治水上にも好結果を齎すこと、頗る多大なるは疑を容れざる所なりとす。

城壁文學

(第三)漢陽宮闕の築造(三) 附 景福宮沿革

小田省吾

次に來る問題は、然らば文祿役に景福宮を燒いたものは果して日本兵なりや。であつて、隨分堂々たる日本人の執筆に係るものにも、我兵之を燒くなど謂つて居るのを間々見ることがある。余は序ながら本篇に於て我が征明軍の爲に此冤名を雪ぎたいと思ふ。抑文祿元年の役に我軍京城に迫るや、宣祖は西幸の意を決し、其の王城を出たのが四月三十日夜、翌五月一日未明であつた事は諸書一致する所である。而して我軍の京城に入つたのは、小西行長等の第一軍が五月二日、加藤清正、鍋島直茂等の第二軍が翌三日であつたから『五月一日は全く無主無秩序、大擾亂大混亂の日で、恐るべき罪惡が此の一日の間に行はれたのである。されば宣祖が京城を出るか出ぬ内に早くも城内に亂民蜂起して、放火などした事は、時の宰相柳成龍の書いた懲毖錄を見ても解るが、更に宣祖王修正實錄二十五年(文祿元年)の條には最も明確に記されてあつて、即ち左の通りである。

『是月晦日(四月三十日)都城宮省火く。車駕將に都を出でんとす。姦民あり、先づ内帑の庫に入り、爭うて寶物を取る。已にして駕出づ。亂民大に起り、先づ掌隷院、刑曹(今の光化門前遞信局の一部及び其の隣地に當る)を焚く。二局は公私奴婢の文籍の在る所なるを以てなり。遂に大に宮省倉庫を掠め仍て火を放つて迹を滅す。景福、昌德、昌慶の三宮一時俱に燼す。』云々

是れに由つて見れば、宣祖王尙未だ京城を出で去らざる内に已に亂民の暴動をなす者があつたのであつて、王の城を出づるや、隨て大門倉庫などの燒かれたのであつて、前記の三宮のみならず、事が明らかであつて、又疑を容るべき餘地がない。此時から約二百七十餘年間は、折角太祖の建てた景福宮も廢地と爲て居つたのであるが、李太王殿下の時彼の大院君は之が重建を思ひ立ち、明治元年迄に落成した。今日殘存して居る勤政殿、思政殿、慶會樓等は即ち其の時のものである。今回此の景福宮城内に總督府が新造せられる事となり、地鎭祭も行はれたから、冗長ながらあらまし沿革を陳べたのである。

(本月二十六日の本紙に掲載した營田集の祭爾宮に關する記事は此處に入るべきを、誤つて前に出してしまつた。此の段讀者に斷つて置く。)(此の項完)

南北支那 經濟觀

木村鮮銀理事視察談(3)

□日支親善？脣齒輔車？

利權と教育—日本留學生の罪—袁の排日主義—戰亂と借款—鐵道借款と日本—受けの惡い日本人

▽列國の教育施設△ 列國が支那人に對して教育の方面より勢力を開拓して居る事は頗る注目に値する。例へば海蘭鐵道では佛蘭西が鐵道從事員たる支那人を佛國語で養成せん爲め教育訓練を與へて居る。鐵道と云ふ如き特殊の範圍以外に、一般教育界に於て見ても、佛、米、獨等の諸國は學校を設けて居る。併し日本語の學校は未だ支那には無い(滿洲は別)而して日本に留學した者は一般に本國で待遇は惡いやうだ。彼等は日本に留學して兎角惡い所のみを見覺えて歸り、自分の不利益は勿論、日本が支那に蔑視される材料を供給する、彼等が本國で割の惡いのは自身の罪といふ譯である。凡そ日支親善とか脣齒輔車とか云ふ事には、教育や病院の施設などを我邦で行ふが根本の必要事であらうと思ふ。一體今迄の日本のやり方は兎角腕を振むつて利權を取り上げるといふ風であり、支那人はその事ばかりを心配して居るやうだ。同文同種が却つて仇をなし反感を抱かせるなど誠に困るではないか。袁世凱なども排日の隊長であつた。素より恩惠的の事が曾てなかつたといふことが餘程今日我邦の不利益となつて居る。

▽排日と排貨△ 最近には袁氏を排斥して革命黨を援助するといふ風に支那人が日本を思つて居た、一體支那人は戰爭嫌ひな國民と云つて宜い、それが内亂打續き商賣は打擊を受ける、生活は苦しくなる、果ては眞に對する恨みが日本に轉じはせぬかとの懸念は萬更杞憂ではないらしい、袁氏は隨分人民に恨まれて居たが、併し彼れが執政の時代ほど平和な時はなかつた、兎に角四年間は無事泰平であつた、故に若しも袁世凱にして帝位を望まなかつたらば、彼は終を全うしたであらうに好漢惜むべし野心が過ぎた。尤も彼は日本にとつては有難い人物ではなかつた、日清の役以來彼は排日主義者であつて、之が爲めには有ゆる手段を盡し來つた、從て排日の風は所在に吹き渡つて、田舍の學校ですら先生が生徒に排日思想を吹き込み、日本品は買ふ可らずなど、教へる始末である。それは致し方ないとしても併し排日の効果は大したものではあり得ない。蓋し歐洲戰亂の爲めに歐洲品は殆ど供給が無く、否でも必要ならば日本品を買はざるを得ぬ。排日貨は絶對的性質を有つことは出來ぬと思ふ。

▽日本人顧問の凋落△ 支那は御存じの通り輸入超過の國である、之れを決濟するには自國内の收入を殖やさねばならぬ、それが爲め鐵道なり鑛山なりに頼りて借款を起し毎年起債して居たが、歐洲戰亂と共にそれが不可能となり、民間借款も亦出來ない事となつた。從つて貿易の決濟にも困り、遣り切れぬといふ有樣である。一寸支那の顧問の事を申せば、日露役後日本人顧問が六十人から居つたが、今では二十人位しか居らぬ。加之陸軍顧問などは獨逸人が占めて居るといふ状態である、尙鐵道借款總額は約六億であるが其の内日本關係のものは千三百萬圓で二百萬圓を吉長鐵道に充てた外は千百萬圓を何に使つたか判らぬ、故に日本借款中擔保のあるのは吉長鐵道のみで利權らしいものも無い。

▽凡そ斯の如し△ 又鄭使事業に於て使用せらるゝ外國人は百二十人あるが、其内日本人はタッタ二人とは情ない。その二人と云つても日本から頻りに迫つた結果、商業學校出立ての東西も知らぬホヤ／＼を幸ひ雇つて居る、それと云ふのも日本人は使ひたくはないが、餘り迫られる爲めホンの義理丈けに故ら學校出立てを入れて樞機に遠け、單に採用してるとの口實丈けでお茶を濁して居るのだ、そんな風の遣り方だから迚もお話にならぬ。

金剛山寫生

平福百穗

内雁門嶺にかゝると六月初めに山櫻の二三株新緑の間に咲き殘つてゐた。毘盧峰も高嶺の上に浮んで見られる。

京日詩壇

○野居書情　西田白陰
一鋤先破隴頭煙。蝶影翩翩在我前。讀書時耕名利外。蹄輪不響萬蕭然。
評曰 前半書意後半仙意

○同上　望月桂軒
素居久不誦詩魂。茗畫幾經悲鎖門。事勿忙今漸到。煙霞眞野鳥聲喧。
評曰 結七字有景有情

○野居書情　安永春雨
恩賜逼溪桐葉盃。山村水驛幾多財。翁笑勸僧蜀酒。終歲絕無租吏來。
評曰 如有含意不可輕讀也

○同上　齋藤三貢
避俗都忘利與名。華門草屋託餘生。園十畝任雞犬。自摘香芹酌酒。
評曰 石湖流亞

○春初小雨　永井鳥石
輕風送雨撲書帷。獨坐焚香敲句時。得東溪梅護樹。明朝春色動南枝。
評曰 妙不弄巧

○春柳　古城梅溪
陽子江頭笛聲。半煙半雨欲黃昏。絲絲搖曳遊舟外。釣得玲瓏月一痕。
評曰 是詩趣

○同上　横田天風
裊裊依依帶艷姿。佳人舞倦睡朧時。風絲弄千絲緒。纏綿説向誰。
評曰 竹枝餘韻

○春初小雨　湊汲古
林泉雪解雨如絲。山洗房顏淡著川新。草漸萌花未發。開窓索句獨支頤。
評曰 自然發溢筆端情動

○同上　成田魯石
春來無復峭寒侵。小雨頻頻未作霖。看爐痕新草綠。始知天意向人深。
評曰 單思精微

○同上　木田芳洲
小雨霏霏聽不喧。夜來最喜促微吟。觀不遠春搖著。入夢先青是燒痕。
評曰 流轉圓滑

○春柳　富澤雲堂
東皇回獨眼先醒。沐雨梳風次第青。待金衣公子影。酒家時使玉驄停。
評曰 一氣而成

○閨蟋桃園圖祝京城日報三千號　安永春雨
幹瑞三千里。花笑三千年。怡怡春服宴。悠悠東海天。漢城一揮仙源夢。日日周
評曰 拓開新意頌得太妙

○同上　栗原華陽
經歳三千枝葉堆。席池鸞鶴舞徘徊。堅有此管城子。又與蟠桃華實催。
評曰 頌得亦妙

日報俳壇

雉子郎選

夏 雜

入馬來る時刻を煮るや藜宿　稜黄子
蒼海を渡る陽遠き牡丹かな　同
牡丹や人弄ぶ國古し　同
夏痩を山林の氣にまかせけり　同
餘花の樓に我ありたて遊子かな　同
花爽いたましき雨を露盈かな　同
みどり兒の眼さとく動く莽かな　同
靑芒渡舟色めき野雨來る　同
圍ひ魚に雨すさまじや靑芒　同
夏帽や輕く被ぶりて無き喜憂　同
まひ／＼の舞ふ水に月やがて無き　同
書肆迫る稿つぐ日々な蠅忙し　韭城
睡る兒を剃るに夫婦や蠅憎し　同
雲を燒くと見し明星や時鳥　同
葉柳や打てど動かぬ疲れ馬車　同
路の雨貧しき礀宜の大志かな　雉子郎

□夏の句を募る 六月三十日締切、これは京日俳句欄第二集の材料ともなるもの也、奮つて投稿あらん事を。京城府瑞麟洞三十四、俳城會宛

日韓書房編輯部編
朝鮮總督府普通文官判任見習及雇員 試驗問題解答
四六版三百餘頁 正價六十錢 送料八錢
朝鮮總督府に於ける普通文官判任見習及雇員の受驗者年々増加するに伴ひ受驗準備に適切なる圖書の出版は極めて必要にして受驗者の常に渇望せらるゝところなり本房は此の緊要なる圖書未だ出版されざるを深く憾とし編輯同人苦心の結果標題の圖書を作成せり本書は總督府設置以來現今に臻る迄五箇年餘に渉り内地人及朝鮮人に施行せられたる文官見習及雇員試驗問題を科目毎に全部これを蒐集し且つ之に懇切なる解答を施したるものにして蓋し受驗者の羅針盤たるを得ん敢て大方の必要を勸む
發兌元 京城本町二丁目 振替京城百十五番 日韓書房

英和 簿記講習録
第十五回新學期開始 本院卒業者は銀行、會社、商店等へ東京は勿論全國へ直に就職せしむ ○東京芝區榮町 大日本通信學院

東京食養研究會編 實驗食療法 [新刊]
中判上製箱入美裝 正價金壹圓送料金八錢
健者弱者病者の大福音現る
食療法とは何ぞ、日常攝取の食品を以て健者は益々之を強健に弱者は轉じて健康體となし且つ萬般の病症を根本的に全癒せしむる者也、而して本書前編には食養生の一般原則を説き後編には有餘種の病症に就き原因症狀療法を詳述し説明平易何人にも解し得、殊に醫藥の要なく病後を安全にす、實に本書は家庭療法の福音也、健康長壽を欲するの士は速に本書を見られよ

農學博士横井時敬先生著 農閑でたらめ草 [新刊]
中判上製美裝 正價壹圓拾錢送料八錢
本書は著者が濫審せる學識を傾注し現代我農界の不振を警醒し鼓吹し指導者の不當を痛罵し殊に流暢なる筆を以て全篇に諧謔を弄したれば其圓轉滑脱は能く人の頤を解くべく趣味津々紙上に横溢す、學究的實際的修養的此の種の著書として近來稀に見る快著也

松崎天民氏新著 [新刊] 漂泊の男・流轉の女
中判上製美裝箱入 正價金壹圓送料金八錢
本書は著者會心の著作にして全篇句々涙あり節々肉躍る而かも空想假盛の小説に非ずして事實の記錄也。其輕快流麗なる筆致と其多感にして同情深き觀察とは眞に著者の獨擅上興味深き讀物として實に天下一品

發行 東京日本橋區檜物町 振替東京二二三一番 弘學館書店
發賣 京城 電話六八四及二〇八六番 振替口座京城二五七三番 大阪屋號書店

京日案內
普通(一回前金三十錢) 番外(一回前金六十錢)

●配達人入用 廿歳前後 本人至急來談あれ 京城北米倉町 玄米乳舍 601
▼和洋紙裁ち落し買受 市價より高價に買受 本町二ノ 電二五二一七 ウツボヤ書店 320
●有給社員募集 確實なる保證人有る者 敷名募集希望者は履歴書持參前九時迄本人來談 本町二ノ シンガー會社 893
▲希望者は電話二〇二五番 有利確實輕便商業 讀店 京城本町最目抜の場所 895
●地方出張員募集 但經驗不要 保證人要す(姓名在社)
●店員入用 但し中等程度 市内に確實なる身元保證人 京城本町三丁目 東西書房 840
●金▲抵當貸付 京城吉野町一丁目百廿七番地 吉川 893
▲ホネツギ▼うちみくじき治療 ●明治町フランス教會正門前 電話二五九五番 荒川仁壽堂 362
●貸室 鍾路警察署横仁寺洞二五五 日本建官吏會社員向家貸格安 使用の便あり 電話二四三六 井村 892
●古本高價買入 勉強是非御試を乞 御報即刻參上 ▲京城本町四 電話二七八一番 群書堂 348
住宅地賣却 工業傳習所正門前へ入る高臺にて眺望佳絶の土地百〇坪を安價にて賣却す御希望の御方は電話一八四五番へ御來談を乞ふ 900
特殊飲料水販賣人募集 京城清涼社 399
職工募集 三名入用希望者は本人來談あれ但し市内に要保證人 △京城南大門通り三丁目 ツヅキ自轉車商
新築移轉 嶋崎病院 京城旭町一丁目(京城府廳裏通) 電話一七三六番 入院隨意 診察夜九時迄 888
廣橋自働車 京城春川間每日午前八時出發 南大門通一丁目 電話一二九番 主務 金正渕 322
鑛山測量開業 水利測量設計製圖調査 忠州竹内鑛務所 868
農產種子卸問屋 御定價表申込次第郵送す 東京千住在保木間 種甚商店 856
時計學 修理講習 特價金弐圓 但前金に限る 送料無料 京城黃金町 振替京城三一 植村支店 829
分拆 礦物各種 坂元分拆所 京城太平通二ノ三五 電話一三四四 865
△式理想經濟風呂 熱料半額湯加減自由完全無比 入用方ハガキ 京城旭町一ノ一 川崎桶店 889
重石買入 鑛物鑑定分拆 鑛山測量 京城鍾路通二丁目 電話一八九九 金石商會 891
爲春堂醫院 小兒科 内科 大和町一丁目(日の出橋下る) 院主 古城 (電話九二八番) 356

◎北京、南方協定事項

英文北京日報所報

英文北京日報の報ずる所に據れば政府は南方との間に左の件を協定したりと(北京特電)

一、クーデター以來今日迄に至る總ての命令を取り消す事
二、黎大總統は猶二年半大總統たること
三、副總統は來る國會にて選擧すること
四、雲貴、江西、湖南、浙江は臨時約法復活と同時に獨立を取り消す事
五、廣東軍務院は政府が南方の軍隊を完全の支配下に置くと共に撤退すること

◎支那新聞と舊約法

二十七日の支那新聞は何れも黎大總統と段國務卿の間に舊約法に就き意志疏通し今明日中に命令にて發表せらるべきを報じ居れり(北京特電)

◎米國對墨政策峻烈

墨西哥の暴徒米領事館を破壞す

米國の對墨政策は漸次峻烈の度を加へ墨西哥に輸入禁止を行はんとす墨國より避難したる米國人國境に到着しなり尚墨西哥の暴徒は市長指揮の下にトレオン市の米國領事館を破壞せりとの報あり(倫敦電報)

◎ヴ塞戰稀有の緩漫

巴里來電に曰くヴエルダン戰は引き續き緩漫にてミューズ河岸何れにても砲兵隊の活動下火なり斯くの如きは今週初めての事にて二十七日は三〇四高地の外歩兵戰なし(倫敦電報)

◎總督上京用向

外交の大進展か

七月上旬を以て上京すべき寺内總督の用向は豫算編成上の打合せ並に東拓問題の善後策等にあるべく察せらるも其れ以外大隈首相初め軍事外交當局者が重大なる軍事外交に關して協議を遂げんが爲め首相より數次書面を以て上京を促したる形跡あり寺内元帥上京後は久しく澁滯せる外交上に一進展を見るべく其の事項が對露對支の兩問題たるは推測に難からざるなり(東京特電)

◎兩院建築設計

總建築費六百萬圓

貴衆兩院は現在の建物にては狹隘を感じ而も現在の場所にては擴張の餘地なきを以つて明年度より五箇年度繼續を以て樞密院馬政局を移轉せしめ其の跡に建設すべく過日大隈首相と兩院議長との交涉纏まりたれば廿七日正式に大藏省に該設計を申達せり豫算總額は六百萬圓にして選擧法改正の結果議員增員せらるゝも差支なし云々(東京特電)

◎商議評議員

[illegible]

◎專門校長優待

文部省直轄專門學校長優待案は五月下旬文部省より法制局へ回附されたるが二十七日の閣議に於て左の如く決定したるを以て勅裁を經て發表せらるべし

●勅任教授にして十五年以上勤續のものは五名に限り左の割合にて高等官一等に陞叙するを得べし

一、商業師範學校一、實業專門學校
一、醫學專門學校一、商業學校
一、其の他の專門學校

右の結果として高等工業學校の手島精一高等師範學校の加納治五郎の二氏は高等官一等に陞叙せらるべしと(東京特電)

◎衞生調查會官制

保健衞生調查會官制は此程の閣議に於て決定し御裁可を經二十八日の官報を以て公布即日施行されたるが之と同時に委員長に久保田內務次官以下委員の任命ありたり(東京特電)

◎佛領總督著京

印度支那總督一行は既報の如く廿八日午後九時南大門著、小松局長、佛蘭西領事、天主教長老、和田鐵道局參事其他の出迎を受け一瀨驛長の先導にて貴賓室に入り小憩の後自動車にて朝鮮ホテルに入れり因に同一行

は二十九日午前八時二十分南大門發鮮滿直通列車にて北京に向ひ七日哈爾賓發急行にて歸任の途に就く筈

◎朝鮮金融の趨勢

朝鮮の金融界は內地同樣春來緩漫の趨勢を續け銀行預金は累月漸增し其の手許有高亦昨今九百餘萬圓に上り稀有の多額を算しつゝあるが一方此の大勢の爲め著しく打擊を受けつゝあるは各地小金融業者乃ち高利貸にて金利の低落と需要の減少は相俟つて彼等を窮窘せしめつゝあるもの如く豐富なる金貸業者の手許金を如何に融通せしむべきかは寧ろ銀行の遊資消化難以上にあり近來銀行預金の增加は一般商工業者が餘裕金を預け入るゝものと云ふより金貸業者が手許資金を銀行に持ち込むにありと見る方妥當なる如し從つて小金融業者の貸出金利は最近低落に傾き京城の如き今春迄二百萬圓以上の融通を見たるも頗る減少の傾向ありと

◎農銀本期成績

鮮內各農工銀行は何れも六月末を以て前半期決算を行ふ事となり居れるが本期間は金融緩漫の大勢に洩れず各行共概して手許有金の常に潤澤に過ぎ其の消化に相當苦慮せしも大體に於て固定せる貸附金の回收に努むると共に、方面質なる貸出しを行ひ昨今決算期の業務成績は良好の方にて目下當局にては各行の考課表に上すべき數字の見込を徵しつゝあるが其の配當の如き前期同樣なるべく金融緩漫の際とて增配の措置に出づる銀行はなかるべし因に前期配當は慶尙金州光州咸鏡各八分平安五分漢湖三分なりき

◎鹽魚貯藏倉庫新設

輸入鹽魚の防遏=魚價の均衡策事業は七月早々開始されん

總督府水產課にては今回鹽魚貯藏の新事業を開始することゝなり、地を元山及び仁川の二箇處に卜して經費を水產試驗費中より支出し、鹽魚貯藏倉庫を設置す可く現に工事中にして六月中に竣成、七月早々開始の豫定なり、本倉庫は鯖、秋刀魚等の鹽魚を貯藏し、鮮內の需給關係を調節して、從來多額を算せる鹽魚の輸入を防遏し併せて魚價の均衡を保持せしめむとするものにして、目下の規模さして大ならずと雖も、水產政策上極めて重要問題なり、之れに就き當局者の談に曰く、鯖の漁獲は殆んど朝鮮全沿海に亘り大正四年度の如きは總產額七百七十五萬二千九百四十四圓、其の價額百十七萬八千四百二十九圓に達せり、元來

▲同魚の漁期 は夏より秋に渉りて二期に劃せられ、南鮮地方に於ては四月下旬より七月下旬迄を夏漁期とし、九月初旬より十一月初旬迄を秋漁期とするも、北鮮地方に在りては水溫及び廻游區域の關係上相連續して以て六月上旬に始り九月上旬に終るを例とす、然るに鯖は生き腐りと稱し、腐敗の度極めて速かなるが故に漁獲後適當の處理を施すに非ざれば到底長期の貯藏に耐ふる能はず朝鮮にては由來氷詰として鮮魚の儘內地に輸送し、或は鹽藏して鮮內各地に供給するも這は梅雨期前に限られ、其以後に在ては如何に精良の方法を以てするも六十度以上の溫熱に抗し得ざるを以て晚秋の漁獲物は

▲需給の均衡 を維持し、相當の市價を保ち得るも、一箇年間の生產高中三分二以上を占むる夏期最盛時の漁獲物は市價極めて低廉なるのみならず梅雨期以後の如きは漸く鮮魚として若干を使用するに止まり同期以降及び晚秋より初春に渉りては遠く露領其他の鹽魚を國外に仰いで盛に之れを消費するの現狀に在り玆に於て當局は秋刀魚、鯖等と共に此豐富なる魚類を鹽漬として長期貯藏の途を講じ需給關係を調節して以て輸入鹽魚の防遏に資すると共に魚價の均衡を保持し、漁業の

▲健全なる發達 を促さむが爲め前記の如く元山、仁川の二箇所に於て簡易なる貯藏倉庫を建設し、玆に收納せんとするものにして、倉庫は兩地共山の北方適宜の箇所を掘鑿して間口二間半、奥行四間、高さ一丈の穴藏を作り、之に適當の設備を加へて約二百五十個の四斗樽を收納す可し、尤も今回の計畫は試驗的なるを以て規模大ならざるも其の成績優良にして倉庫狹隘を感ずるに至らば必要に隨つて之れを增設するに吝ならざる可し。

◎釜山商議役員當選

二十八日午後二時三十分より釜山商業會議所役員選擧を行ひ其の結果會頭に大池忠助副會頭に中村俊松、李圭正常議員に提良之、香椎源太郎、井谷義三郎、武久捨吉、石原源三郎の諸氏當選したり(釜山特電)

◎工業教育調查進捗

總督府にて調查中なる工業教育調查會は前週迄に各委員の調查したる意見書を青木商工課長の許迄提出する筈なりしが種々の支障を來し從つて未だ全部の決定を見ざれども今後十日間を出でずして各調查委員より意見書の提出を見る可く豫定の如く夏季休暇前には勿論具體的の成案を見るに至るべしと

◎拓殖資金の周知方

東洋拓殖會社に於ては拓殖上の資金供給に關し成る可く個人又は團體の利益を圖り以て土地の開發に裨益せんとするの希望あるも從來其貸借方法に就ては未だ一般に知悉されざるの感ありとし同社は其筋に對し右貸借方法の周知方を依賴したりと

◎漢湖農銀の成績

漢湖農銀今期決算は本月末日を以て行ひ株主總會は七月下旬開催の豫定なるが右に付遠山支配人は曰く前期は約二萬圓の缺損なりしも今期は業務比較的順調にて缺損等を差引き尚ほ六千五百圓の利益を見る事となりたれば前期繰越金全部を配當準備金に依らず前期と差なき配當をなし得べく而して本行整理著手以來少額ながら利益金を見るに至りしは今回を以て嚆矢とす尚ほ今期中經費の節減並に固定貸附金の回收により農債廿萬圓の償還を行ひたるは貴紙既報の如く預金貸出何れも逐次確實となり殊に預金は整理著手前に比し約七十萬圓の增加を見居れり

◎山本海軍大佐著發

渡歐の途にある山本海軍大佐は二十八日午後九時南大門著入京巴城館に入り一泊二十九日午前八時二十分發鮮滿急行にて長春へ直行の筈

◎馬山線渡船聯絡

水害の爲め二十五日夕刻より不通なりし馬山線洛東江、進永間は二十九日より約半哩を渡船聯絡とし南大門驛午前八時三十分發及び釜山驛午前十時三十分發の二列車のみ同線に接續運轉を開始することゝなれるが同線復舊迄は郵便物、新聞紙、及び小手荷物の外は一切荷物の取扱を爲さゞる由

大正水利(一)

中島生

起工式擧行

本組合資金之調達其他萬般之準備漸く緒を告げ愈々枇峴附近隧道工事開始致候に付本月二十二日午前十時枇峴驛臺峰山上に於て起工式擧行仕候間萬障御差繰御賁臨の榮を給り度……との案內狀が大正水利組合長藤井寬太郎氏から來た、豫て大正水利組合の事業は朝鮮第一の水利工事として一般の注目を惹いて居たが、愈々起工式を行ふ運びに至つたるは、慶すべき次第、現場の狀況も一應承知して置きたく、旁々其式に列せんと、二十一日の夜行列車にて北上する。

曉氣肌に冷かに、黎明起きて車窓の帳を排すれば、沿道山野の趣は南鮮と異なり、松林の少ない代りに櫟、落葉松、雜樹林が多く、內地で東北地方に行つた如うな氣がせられる。確か定州驛よりと思ふ、川上平北道長官の一行が乘る。長官は管內巡視の歸路、矢張り大正水利の起工式に臨むのだと云ふ。

九時半枇峴驛に著く、驛には紅白の鯨幕が張られ、川上長官始め京城より來た吾等一行の下車するを、藤井組合長以下關係者一同出迎へ、休憩室に招じ、時刻を計つて藤井氏が先に立ち一行を式場に案內する。式場は驛より西に約一里の圓軍山に設らへてある。『軍を回す山とは何だか退却でもした山の如うで、芽出度い起工式には緣起が惡いと思つたが、調べたら實は退却したのでなく、勝つて凱旋すべく軍を回した山だと古記にあつたので、そんな芽出度い山なら結構だと、此處に決めたのです』と藤井氏は云ふ。

風の無い隨分暑い日であつた。鐵道線路を離れると最う直ぐに水利工事の現場になる。パナマ運河の縮圖のやうな掘割が圓軍山の麓まで殆ど連續的に作業せられて、無數の朝鮮人が營々孜々と土工に働らいて居る支那人も混つて立ち交つて居た。藤井氏は要所々々で立ち止つて說明する。一同は汗を拭き々々謹聽する。

圓軍山には中麓に大緣門を設け、頂上近くにも緣門あり、山頂に幄舍あり、祭壇を設く、所々に天幕が張られた。其の山に達したのが十一時近くで、煙花三發威勢よく擧式を告ぐると、此日の參列者一同頂上祭壇の前に居並ぶ。此處にて神官の司式で各人玉串を捧げて起工の行事がある。祝辭朗讀があつて午後一時目出たく式が濟み、食堂が開かれる。

食堂では赤飯の折詰に冷酒が添へてあり、その折詰の箱が莫迦に頑丈で、まるで硯箱の如うだ。フロックを著て顏中汗だらけになり、折襟もグダ〳〵になつて車輪の如く斡旋して居た藤井氏は『此箱については實は京城から取り寄せれば體裁も良いしと思ひまして當所で鴨綠江材を用ゐ造らせたのです。コンナに頑丈で、而も四錢です。御覽なさい。中實よりも箱の方が高い位で馬鹿らしい管ですが、一個十四錢もかゝるので板の折なら再び使へぬが此箱は皆さんの御食事が濟んだら鮮人工夫等に與へます。彼等は何年となく永く此箱を利用する譯です。これが藤井式です』と說明する。

食事が濟むと餠撒きの代りに錢撒きが始まる。日本では古來棟上げや起工式に餠を撒くのだが、朝鮮では迂濶り餠を撒けば、食物を己に投げ付けるなんて馬鹿にしてると、怪しからぬと朝鮮人は怒つて往々間違が始まるといふので、藤井君は一寸考へた後、これは錢を撒くに限ると決めて、五厘錢を三千個都合十五圓丈け紙切れを付けて振り撒いた。それが爲め此事を聞付けて集まり來つた白衣の鮮人幾千といふ數を知らず、奪ひ合ひ拾ひ合ふ樣、遠く望めば白鳥の群れ戲るゝが如く、お話にならぬ大賑ひ。附近鮮人の喜びは大方ならぬものであつた。『女でも揚げて騒ぐのが散財と限りません、これが眞個の散財です』と藤井君は笑ふ。斯くて午後は夕方まで種々の催し物などあり鮮人歡呼の裡に大正水利の起工式は目出度く終つた。

以上は起工式當日の概記であるが以下此の水利事業について沿革計畫の大要を記すであらう。

人事消息

▲伊澤修二氏(貴族院議員) 入京中の處二十九日朝退京內地に向ふ筈
▲永石光吉郎氏(土地調查局書記官) 入京中の處二十八日夜退京
▲安川昇氏(軍醫) 二十八日夜入京天眞樓へ
▲梅野實氏(三菱社員) 同上

◎南言北語

支那では舊約法と舊議會の復活眼前に迫つて來るに從つて政黨熱も大分盛になつて來たらしい▲もとより今迄の政黨意外に大分新政黨も現はれて來るのだらうが鳥渡形勢を窺つて見るも面白い▲何と云つても政黨中で最大なのは國民黨だらう▲孫文、黃興兩氏は已に過去の人物となつて新時代には推戴せられないのだらう▲何人が其の首領になるかを物色すると先づ唐紹儀らしい▲同人は大分野心があるから先づ進んで其の首領にたるだらう▲次には獨立各省長の中心人物たる梁啓超が、一黨を樹立するに違ひない▲今回の革命は蔡鍔が眞つ先に旗擧げはしたが實は梁啓超と連結して一致の行進をなさしめたのは梁である▲江蘇、浙江、兩省の政客中にも梁の幕下に屬する者も多いから梁が起てば各省都督も皆之に後援するに違ひない▲其れから湯化龍は已に一旗幟を樹て黎總統とも深い關係があるから進步黨の一部及び湖北派も多く部下に屬するのだらうから先づ一大政黨を形勢すべきも梁と合同するや否やは未だ問題だ▲孫洪伊の一派は時局政黨に加入せずとは云つて居るけれど密に當路の有力者と秘密結託をして居るらしいから若し一黨を組織の曉には其の有力者を推戴するに相違ない▲以上の四派中系統より云へば湯と梁と接近し孫は國民黨と接近する事も出來る▲現在北京の舊議員政客の多くは公民黨に屬し公民黨は梁士詒に屬して居る▲處が梁は失脚したから何とも出來まいが李根源や熊士鍔等が帝制派の中堅を率ゐて一團體として政黨を組織し▲段國務卿を推戴して北方軍界を後援とし優に南方純民黨に對抗するかも知れぬ▲段氏が之を引き受けるか否やは分らない▲當るも八卦當らぬも八卦だが愈々な出現の曉には大した相違はあるまい

[illegible]

雨の亡父母を埋葬し……

居住江原道生れの李昌善(二八)は十七日の夜本町四丁目多々良某方家人の……

新築移轉御披露

今般業務擴張の爲め本町二丁目京城電氣會社前へ移轉仕候當分の間移轉御披露の爲めヒスイ特別割引にて販賣仕候間倍舊の御引立奉願上候

京城本町二丁目(京城電氣會社前)電話九九四番

骨董商 伊藤寶古堂

日韓書房 新版報告

村山龜齡著 平家詩史 定價(四十錢) 送料十八錢
幸田露伴著 修省論 定價一圓 送料八錢
日本百科辭典完成會發行 日本百科辭典 第七卷 定價十圓 送料四十八錢
赤堀峯吉著 和洋家庭簡易料理法 定價 送料十二錢
朝鮮總督府編纂 朝鮮林野分布圖 定價 送料十二錢

京城本町二丁目 日韓書房

機械油 カーハイト

營業所 門司市錦町 (電話長五一五番)
車印機械油 石油 輕油製造販賣
日本石油會社機械油九州一手販賣
信濃電氣會社カーバイト西部一手販賣
製油所 新潟市關屋大川前 (電話長三三三番)

岸商店

夏の好讀物七月號出づ……(創刊以來每號賣切れの大好評)

女大學と現今の女 法學博士 奥田義人
家庭料理 櫻井ちか子
冬著の仕舞方 石梅子
子供に對する賞罰 日本女子大學教授 高島平三郎
婦人の交際 太田文學士
家庭訪問記 婦人記者
婦人の天職と使命 京城高等女學校長 成瀨仁藏
この夏をどうして過すか(諸名家夫人)
私の日常

お若方と智識と趣味の向上を兼ねたる本誌であります

大陸婦人界

朝鮮に於ける慈善事業 大陸婦人界社長 牧山耕藏
私の經驗と感想
烈女傳
小說 死の時 撫子
昌德宮拜觀記
女學校卒業生
臺灣お土產
家庭衞生

購讀申込所 京城太平通 大陸婦人界社

東京製鞄 旅行用具一切

防水布外套マント色々

洋傘 雨傘

卸小賣 高木商店

京城本町一丁目電話一二三四番

内科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川醫院 電話三七九番

▲頗ぶる閑散 [illegible]
新臣▲東亞煙草大販出張所▲麻阪 [illegible] 合平▲小川清五郎▲加茂儀作▲寺 [illegible] 一九千四百四十八圓 [illegible] 期に切迫し品傷見越に目立ちたる注 [illegible]

佛領印度支那總督エーンルーム氏と同夫人

爆烈彈の投げ合ひ
注目すべき二戰場＝フリユーリーの激戰とコーウエルの爭奪戰

歐洲戰爭中では今の處何と云つても重要な戰闘はヴエルダン攻防戰と露獨の戰線である一口にヴエルダン戰と云つた處で其の戰線も隨分長距離に亙つて居て攻撃軍たる獨軍が其の戰線全部で活動して居るかと云ふと然うではない つまり主力を以て或方有利の地點を突破しようとして居る、で一時はヴエルダンの北方に全力を集中して

猛襲に次ぐに猛襲

を以てした時なごは彼の有名な死人丘迄も作つたのである獨軍がヴエルダンの前面外廓砲臺たるヅオーモン砲臺を占領せんとして攻めて居た事は以前からで多大の犧牲を拂つて一勝一敗の間にあつたが其後同砲臺も遂に陷落し次でヴエルダン要塞正面に於ける最も要害であるヴオー砲臺も獨軍の手に落ちたと同時にヴエルダン要塞三哩位の處に迄進んだ處が此の方面には未だスーヴイル、ベルヴイル、ミシエル、タバンなど

其他數個の諸砲臺

があるが之等砲臺が能く潮の如く寄せ來る獨軍を防禦し得るかは問題である若し之等の砲臺が直に陷落するとすればヴエルダンも遂に陷落の止を得ぬ事になるのだらう併し乍ら佛軍も必死に防いで居るから益々此の方面に於ては凄慘を極むる大激戰があるに相違ない今の處現にスーヴイル砲臺北方フリユーリー村落やロクデテール村落では四十餘時間に渉る

激烈なる市街戰を

やつて殊に兩軍が五六尺の近距離で爆彈を投げ合ひ白兵戰をやつて居る而も此の方面の獨軍は三尺の地上に二十人位の密集で押し寄せて居ると云ふから實に驚くべきものだ獨軍は此の方面からヴエルダン本塞に向ふものゝ如く左すると左方にはスーヴイル砲臺があり正面にはベルヴイルミシエルなどの砲臺があるヴエルダン戰中で最も重要な戰爭は何と云つても此方面と云はねばならぬと同時に最も注目すべき戰爭である其から

露獨軍の方面でも

其の戰線は頗る長くて獨軍は南方露軍側の猛烈なるスモルゴンの北方で露軍を突破せんとしたが失敗し中央及びドヴイナ戰線でも度々露軍を脅して居るが目下の處最も重要な戰爭として目すべきはウラヂミルウオリスク北方のコーウエル戰である、で露獨兩軍は必死になつて戰ひ殊に獨軍は絶對絶命の努力を發揮して居る何故かと云ふとコーヴエルを露軍が占領する時は獨軍の戰線は兩斷される事になる其處で致方なく北方のブレストリトウスクに退がらねばならぬ斯うなると南方の墺軍は既に露軍の爲に散々に敗散されて居る今日南方

露軍は破竹の勢で

直にレンベルグを突きコーウエル北方からレンベルグを經て南方コメロアに至る墺軍の戰線は兩斷せられずんば總退却の止を得ぬ事になる兩うなつて來た日には南方の露軍が直にカーパシアン山脈に到著するのも容易である其れ故兩軍の爲此のコーウエル戰は最も必要な戰爭と云はねばならぬ兎に角目下の處注目すべき戰場は以上の二箇所である戰爭は時々刻々進展して行くものであるから此の方面とても何時何う云ふ變化があるかも知れぬ

假面を剝がる
帝國慈善院を種に詐欺

愛媛縣新居郡泉川村生沼田綱吉（四五）は長女まさよ（八）二女うめよ（二）長男達義並に同村生れの西本たまゑ（一）の四兒と共に昨年夏頃大阪府下堺市東町愛育社孤兒院に交渉して同院の行商を引受くる事となり愛育社製造の歯磨粉、石鹸、樟腦、筆等を携へ同年十一月中宮城縣下を行商中偶々東京帝國慈善育兒院行商人内田隆知なる者に邂逅したる際東京育兒院の製品は堺愛育社のものより優良にして利益多き由を聞き俄かに惡心を起し同伴し居れる兒女を悉く東京たる帝國慈善院の育兒、自身は育兒の監督囑託齋藤綱吉と詐稱し長男は松之進義、長女は佐藤正代、次女は加藤梅代等と變名せしめ到る所僞造の證明書を示して宮城縣外八縣を行商し十一月中旬迄に七百餘圓の[illegible]を得たるより本年舊二月二十六日前記長男を除きたる三女兒を同伴して渡鮮し木浦に上陸して前同樣手段にて巧に南鮮地方を經て沿道約一千餘人を欺き三百餘圓を得て本月十六日黃海道海州に到著し行商し居れる所を遂に同地警察署に取押へられ檢事局に送られたり

太華夜宴

▣無佛居士は二十七日の晩入京中の平福謙伯に朝鮮畫家を紹介する目的で大華亭に清宴を催した
▣正賓として百穗畫伯の他に工藤文哉氏が請待せられた朝鮮畫家は安心田、趙錫晉、金應元など云ふ名家が集つた
▣當夜は軒端の忍草に五月雨の音もしめやかに斯の種の雅會には持つて來いと云ふ靜かな晩であつた俗塵から全く離れた一室で主客相寬いで晩餐の後は畫伯は各自興に乘じて得意の筆を執つて席上揮毫が初つた
▣最後に文哉先生が紙に臨んだ時一座は其の筆觸する處必ずや墨痕鮮やかに得意の篆文が書き出されると思ひきや忽ち奇峭な靑苔斑々たる岩が描き出された元來文哉先生の書名は世間定論ありたが畫筆を執るとは天が下に知つた者は少ないであらう
▣だんだん聞いて見ると實は取つて置きの隱藝にする心算りで大華畫伯に二三回手解きをして貰つたが大華畫伯が京城を去つたので遂に目的は中途に挫折したさうだが流石に素養は爭はれぬもので立派な腕前は坐客をアツと云はせた
▣最後に記念の合作をなし一つは東都の蘇峰先生の手許に贈り一つは大華亭に珍藏する事になつた
▣奇妙にも當夜出席の朝鮮畫家は三人共まだ金剛山を一度も見た事が無いと云ふので平福畫伯に其の淸福を羨んで居たが金小湖翁は內地に亡命中其足跡日本の山河に遍ねく平福畫伯の未踏の景勝も探つて居るので雙方相殺に終つたのも一笑であつた
▣文哉先生二絕あり曰く
坐頭淸硯會嗣霞〇此處隔塵不用紗〇一雨將成雨無戕〇朽欄千外聽鳴蛙〇
風入不計四筵鷙〇對竹學狂卄世評〇
▣無佛居士之に和して曰く
畫龍補間數殘漏〇太華夜碧字分明〇
不須遠去討烟霞〇夜雨小亭湯碧紗〇主客相忘坐殘漏〇只聞欄外有鳴蛙〇
奇巖忽就坐脊鷲〇只怕畫名脊世評〇一處貫通々高處〇果知此語太分明〇

浮浪苦力三百
靑島から追放せらる

山東革命動亂の爲め靑島に在りし支那苦力は一時山東內地へ向ひ爲に憲兵隊の手を煩す微罪處分の受刑者も頗に激減したるも同地方不況の爲め近來再び靑島に入込むもの漸次增加するより當局に於ても治安の維持上直に之等の浮浪苦力三百餘名を引捕へ去る二十二日出帆の阪鶴丸にて悉く大連に向け追放せり

舊惡を自白す

原籍廣島縣加茂郡阿賀町神田久松（五十）は鮮影島に居住し魚仲買を營み去る明治四十四年一月二十日雇人田明瑞（三八）を伴ひ汽船にて出帆したまゝ行衛不明となり居りしが昨年久松の知人迫與之助と云ふが京城に來りし時久松と共に死亡したる筈の田明瑞に出會せしかば大に驚き釜山署に告せしかば田明瑞は直に逮捕され釜山法院に於て取調中の處廿三日に至り決定せり同人の自白に依れば明治四十四年一月二十二日統營郡道中面水月洞東島附近の海上に於て久松の熟睡中を殺害し同人の所持金二百圓を奪ひ直に其場を逃走して京城に入り某煙草店に雇れ居たるものなりと

猛獸出沒夥し

平安北道にては近來猛獸の出現夥しく人畜の被害獸から本猛獸の大部分は豹なるも豹及び狼等も時々出沒し居れり最近の被害次ぎの如し
▲五月三十日雲山郡八院面[illegible]自宅より十八町[illegible]離れたる谷間にて死傷者の女兒[illegible]豹に襲はれ四丁餘の裏山にて死骸を發見▲碧潼郡[illegible]洞洪龍得二女洪姓女（八つ）は十一日午前八時半頃兄洪亨國（一二）と共に裏山を通行中狼に襲はれ數個所に咬傷を負ふ▲朔州郡外南面水[illegible]洞某中[illegible]洪寶元（五つ）は十五日午後六時頃父母の畑仕事中五十間斗り離れたる所にて豺に襲はれ翌日死體を見▲楚山郡邑內面四[illegible]

擽死

去る二十五日午後一時頃京義線急行列車が平安南道古邑里鐵道踏切に差懸りし頃年齡七十年位の鮮人男該踏切にて列車に觸れ慘死したり住所氏名不詳の爲め假埋葬に附したりと

出獄して生れ變る

江原道橫城郡公根面上草院里農鄭英時（三八）は賭博常習犯にて懲役處分となり昨年の恩赦減刑に浴し本年二月十八日滿期出獄して歸郷したるが同人は入監前迄は懶惰遊蕩の無賴漢なりしが出獄後は殆ご生れ變りたる如く性行一變し經驗もなき農業に從事して倦む色なく孜々として勤勉しつゝありと

破獄して逃ぐ

去る二十一日夜靑島囚禁場內の囚人一名は監視人の目を盜みて牢獄を破壞し窓を飛越し逃走するを憲兵が認め早速警笛を吹いて急を告げ追跡したるが囚人は一目散に湛山方面に姿を晦まし儘未だ縛に就かざる由（靑島）

豺に襲はる

江原道伊川郡方丈面及び板橋面にては五月二十日四名の朝鮮人男女が猛獸に咬まれ內二名は遂に死亡したるが本月四五の兩日にも方丈面鱗原里、鳳陽里に於て現はれ當年七歲及び八歲の兩兒を咬殺したれば目下其筋にて驅除に努め居れり

河豚は妙藥

平安南道龍岡郡海雲面溫井里宿屋金菜方に宿泊中の平北江界郡前川面長林洞金炳鎭（三七）は數日前何處よりか河豚三尾を買ひ來り其臟腑を取り出し腹咳の妙藥と稱し喫したるに間も無く絕命したり

公印を僞造す

全北金堤郡孔德面回龍里文章述（三七）は債務の償還に窮し自分に土地及び建物を所有せるが如く裝ひ之れが保存證明申請書を僞造し之れに自己の僞造せし金堤郡廳、同郡守其の他の印章を押捺したるを發見其の筋に捕はる

巡業日記

〔鎭西山祐藏〕

口九州山の御馳走

▲九州山の御馳走 力士仲間は皆鎭海の市民の歡迎を受けられる事を喜んで居る ▲鎭海の町に於ける年に二回の本場所の如く盛大に思ひ來たと云ふ感があつて一日でも多く居て力士の働みたいと思ふのに此の地に於ては此の際一日も降りつゞく雨のために其れさへ思ふに任せないのは實に力士連中の殘念な事であると

▲馬食 なかなか始めた。こんな時には全く馬食の外に何の實のない自慢の一つに相撲の[illegible]

▲牛肉 の喰に堪へないか、今日あたりは九州山も[illegible]（以下判讀困難）

▲大臣 の格ぢやない九州山曰く『吾々の食物はお臍の國で百姓でもしてゐたら一生は恐らく來代まで喫いで見る事も出來ないお互ひに撥にゐた時代を思ふとまるで大臣である』 [illegible]

▲草鞋 掛けで暑田されたが下山の途中市街の中に親子兩人が睦まじく働いて居るのを床しく思つてそゞろに同情し農夫に向つて『貴方は角力は好きか』と聞いた所が農夫は『私は角力は大好きですが金がないゆゑ』

▲懷中 から白紙を取出して手紙を認めて渡し此の手紙を御持參になれば角力がある間は何時でも御覽になれると云つて與へた老農夫は團取の親切に感極まり嬉し涙を催しながら天下の大關に斯樣な手紙を戴く事は一家の名譽であると述べ此の手紙を末代迄の記念とすると厚く禮を述べたさうである。何時もながら何んといふやさしい心掛けでいらうかと感心する。

▲達筆 な所から當市の有志で記念の揮毫を申込む者が少なくない。夜分に市長の大邸に於て大錦、常陸山、朝潮の三氏が來訪されたが饗應は鴨島の鴨鍋、食事中市長は新く隣り續いて力士連には嗽か、御嗽だらうが當市、爲めに落ちて大錦市長の爲めには良いと述べられたが之れではあるで當らずとは正反對であるので使はまあくだと思つた。（二十六日鎭海にて）

鎭海の大相撲

二十一日以來引續き雨天休場中なりし東京大相撲は非常の好景氣にて二十八日初日を出せり勝負如左（特電）
兒島洋 駒泉 當の花 負 勝 大錦 綾鶴
大門岩 勝
▲中入後
逆鉾 對 一緑港
稻葉嶽 對 宮城山
大蛇潟 對 龍ケ崎
兩國 對 梅ノ谷
西ノ海 對 大錦
男島 對 朝潮
四海波 對 岩木山
小常陸 對 逆鉾
綾川 對 柳ケ崎
對馬洋 對 九州山
栃木山 對 宇都宮

當の花 對 駒泉
二十九日の取組左の如し
綾鶴 對 龍ケ崎
大門岩 對 逆鉾
一緑港 對 岩木山
釋迦嶽 對 梅ノ谷
大蛇 對 源氏山
西ノ海 對 栃木山
宮城山 對 四海波
九州山 對 小常陸
宇都宮 對 源氏山

忠州の寺內町

各地の素晴しい重石熱 旅館は何處も大繁昌

忠淸北道江原道地方の通信狀況視察中なりし矢野通信課長は一兩日前歸任其の談に曰く
忠州を中心として淸州、美江、島致院の各地を一括にした重石熱の侵犯地は

▽却々の景氣 でした、重石の下落は彼等にとり一の大打擊でせうが作業の方は熱心に續けてゐるらしい、お蔭で同地方郵便官署の各種通信事務取扱ひは大變な增加と多忙で早くから局員增加と云ふ事が問題になつてゐたが、今回各局共略解決して來た、景氣の半面は其の地の旅館に現はれドコも滿員の盛況であつた忠州から長湖院、利川、洪川、驪州等を經て春川に出たが各地間を連絡する道路は素晴らしくよくなつた、ドコも自動車及び俥で安全に通行が出來る。忠州で一寸目新らしく感じたのは寺內町と云ふのがあつた事です、私も十年も朝鮮に官吏をしてゐたが何處に行つても皆ちと云ふ名稱は知らなかつた、何も總督に媚びると云ふ譯でないけれど遠い外國の例を引くまでもなく大連などでも武將や大官の姓をとり町名を附けてゐる、コレ一普通の如何はしい行り觸れた名を附するより面白味がある、京城に寺內町なく又伊藤博文町の附せられざるを何故かと訝しんでゐた私は忠州で此の疑問の幾分を解きました、更に此行各地の狀況を調べ其學齡兒童數を居住民に對比すると總數の一割である事に氣が付いた。御參考に數字を擧げませう
地名	住民	學童	地名	住民	學童
忠州	八〇八	七五	驪州	一三〇	一五
烏致院	三〇一	三〇	原州	二〇〇	二〇
長湖院	一三〇	一三	春川	三〇〇	三〇
利川	一〇〇	一〇			

讀者文藝
（一等には五十錢の賞品券を呈す）

狂歌『角力』
〇女からひむ鐵砲ではねられて四十八手も足も出ぬ關　京城　小草
龍山元町二　岡本

▲角力とり大風の前には[illegible]なるなり　京城　安　顧
▲寒中も稽古で通る角力とり大風の前にはなるなり　大郎　下手子
▲煙草入帽子鼻紙下駄羽織飛んだ角力の番狂はせかな　龍山　十八公
▲角力取り男に持つた不仕合せ裸にされて垢離を取るかも　京城　浪太夫
▲市谷ひ火の用心様な稽古大釘なせわが不思議なりけり

俗謠『寂み』　締切廿七日　發表三十日
川柳『カフエー』　同　廿八日　同　一日
狗は付『送りたいものは』　同　廿九日　同　二日
一口噺『運動會』　同　卅日　同　三日
都々逸『來人我太夫とかけて』　同　同　四日
次回狂歌『チヨツキ』　同　三日　同　五日
四日　同　六日

▲應募集規程 ▲用紙は半紙又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の外に用紙の欄外に何の募集か朱記▲投稿は一般俳句の外は未選物に用ふる事▲此規程に違はぬものは沒書

大艀の厄介

[illegible]月廿七日[illegible]大阪府[illegible]九六百餘噸の[illegible]にして前月に比し富興[illegible]山旋なる祖先の墓地に親戚田畠[illegible]

城林町

潜伏中

より本町署に突き出したり 咸北北靑生れ京城黃[illegible]

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話[illegible]

開業御披露
拜啓愈々盛夏の候各位益々御清穆の段奉賀候陳れば今般當店に於て朝鮮特有産大理石を採掘卓越せる技巧こ斬新なる體裁各種御注文次第大々的勉强且つ迅速に御用に應ずべく候間多少に不拘御用命御付被下度奉懇願候 敬白
京城本町二丁目（電話四三〇番）
東洋銘石商會營業部 森 啓 助商店
第一製作所 京城監獄內
第二製作所 原石採堀場（京城太平通二丁目一〇三）
原石並に庭石置場 京城南大門外東亞煙草株式會社敷地

スタイリツシユなスーツ 京城商會支店 [illegible]

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候
株式會社百三十銀行京城支店 電話園五八番 振替貯金京城一九四番
京城本町壹丁目 頭取 安田善三郎
資本金五百萬圓

SICCAROL
最新藥 シッカロール

シッカロールはアセモ、タダレの豫防治癒を主眼とせる製劑なれども小兒期に罹され易きタイドク又は輕微の切傷等に應用する時は一面殺菌の効を奏し一面皮膚の形勢回復を促進す
東京神田 和光堂 大阪

大日本優等淸酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七 振替口座四二五番

日本一パイン万年ペン
京城旭町二 東京植松出張所發賣 ○實用向參圓八拾錢、紳士用短軸六圓
修繕部を設け如何なる破損も極て廉價に即時修理、市內御報次第參上

女鳩

渡邊默禪

『二九』空蝉

と、その晩の八時頃、中玄關に裝置けた呼鈴が鳴つた。お孝は慌てゝ出て行つた。間もなく引返して來て住江に

「あの、叔母がまゐつたんですの。ちよつとお暇を戴いて表まで出てくれろと言つてますが、如何しませう。住江さん。何か話があるんですつて……大方過日手紙で言つて寄越したことなんでせう。いゝ、お嫁に行けとかなんとか慫めてるんです。私、可厭だと斷つてるんですのにねえ。』

怨う言つて顏を蹙めた。住江はその話に格別の注意を拂はなかつた。

『そんなお話なら、中へお通ししてゆつくり爲さいな。いくつもお座敷が空いてるんだから。』

『いゝえ、私も爾う言つたんですけれどもね、叔母は昔氣質の遠慮深い人だもんですから、どうしても上りませんの。』

『爾う。それぢや出ていつてお上げなさいな。成るべくお早く話を濟ますやうにしてね。』

『はい、直戻りますわ。』

お孝は勝手口からとつぱくさと出て去つた。それから卅分程經つたけれども、如何してか戻つて來なかつた。住江は他の女中を表へ呼びに遣つた。と、何處にも見ゐませんと言つて歸つて來た。輕い不審はその時から彼の心に浮いた。

其處へ電話が懸つて來た。秀子さまにといふ名指して、美しい聲の主はちよい〳〵遊びに來る嫩葉會――若い女だちの手で造られた音樂研究の團體――の佐瀬春子といふバイオリニストだつた。秀子への電話はいつもお孝が取次ぐ例になつてゐたけれども、留守なので住江が代りに聞いた。と、その用事は

『お近いうちにお催しになるとか彼仰つてらしつた假裝會は、幾日にお極りになりまして？それから假裝の趣向に何か制限がございますでせうか。自由なんでせうか。實は私の方に十何人といふ入會者が出來ましたんで、ちよつと其をお伺ひいたしたいのでムいます。』

と怨うであつた。その假裝會といふのが住江にちよつと分らなかつた。あべこべに此方から問返して、やつと呑込めた。秀子が爾ういふ計畫をしてゐるといふ事は彼にとつて初耳であつた。それだけ彼の驚きは強かつた。お父樣のお留守中にそんなくだらない遊戲をするなんて、まア何といふことだらうと呆れた。そして大膽といへば云へるほどの、放縱な荒んだ心持になつた秀子の現在を、悲しい出來事の一つだと思つた。

『伺つて參りますから、少時お待ち遊ばせ。』

電話をその儘にして置いて、自身で秀子の居間を訪れた。長い廊下を渡るうちにも、私の耳へ直接にそれを聞いたのが何よりの幸であつた。他の召使どもの知らない間に、こつそり異見をして止めさせて了ひませうなど、考へてゐた。

と、居間には秀子の姿が見ゐなかつた。方々を捜したけれども何處にも居なかつた。氣がつくと居間の縁先に庭下駄がない。それでは庭園の方かと他の女中を呼んで、共々に捜索したが、邸の内に居ないといふ事が明かになつた。そのうち春子の方では餘りに待たせるので、腹を立てゝ電話を切つて了つた。

庭の潜戸が開いてゐて、表の方へ出かけたやうな形跡があつたので、住江は直と一人で門外へ出た。さうして的もなく千鳥が淵の濠畔について、九段の方へ向つた。何だかそつちに居るやうな氣がせられてならなかつたのである。

空には暈を衣た月があつた、薄青色の絹張を張つたやうな水蒸氣がしつとりと流れて、お濠の堤に生ひた松が影を木炭畫のやうに見せてゐた。路傍の垣越しにほから〳〵と匂つて來る白梅のおぼろ夜は、淡い春を夢にして、人の心を星ある方へと惹いてゆく。

疑ひと不安とに導かれた彼女の足はいつか九段上の電車停留場へ出た。

婦人科 産科 **二宮醫院** 電話一二〇一番

院長事久敷歸鄉中の處昨日歸院從前の通り診療に從事仕候間此段謹告候也

六月廿六日 京城壽町四一

釣道具に限り貳割引

京城永樂町二丁目 釣道具網製造 御小賣商 **吉備商會**

投網其他漁具一式 監獄署製品販賣所

奉賛會献金者

▲四十七圓十錢小林長兵衛拔(福島清一郎外百卅九名)▲卅八圓鍋島宇吉外二十三名▲五圓藤原弘▲五圓山下順平▲五百圓朝鮮郵船株式會社▲三十圓吉田秀次郎▲五十圓朝鮮郵船株式會社職員一同

新刊紹介

▲速算法講義 珠算に依る乘除の運算便法に加減を應用したる最新式速算法にして一度之に習熟せば如何に複雜なる數の計算と雖迅速且正確に算出し得るを以て商店又は銀行會社等に在つては頗る便利なるべし(三十錢東京市神田區裏猿樂町二丙午出版部)

▲安價生活料理法 食製は中流以下の家庭經濟を左右する第一のものなり本書は四圍季の料理法百數十種を平易に説明せるもの自所大膳頭たるの資格あるべし(三十五錢東京市日本橋區數寄屋町的水書房)

▲婦人畫報(七月號)德川女史の肖像(オフセツト二頁大)の流麗なる口繪を卷頭に數十の寫眞には山階宮殿下を初め奉り令嬢かとみ(若あゆ、花あやめ、なでしこ)の各令嬢、松方、西郷兩家の園遊會、貴婦人のバザー、等より夏向の髪形と帶の締め方、名家の盆栽と盆栽、生花の葉、夏料理三種其他を載せ記事には夏季に於ける婦人の衛生、衛生、旅行、飲食物の注意、化粧法、室内裝飾法、其他の名士の說を收めたり銷夏の好讀物たるを失はず(三十錢東京市京橋區疊町東京社)

▲妾(九三)通信國畫史談は例の通り、且本號より德川御妨姬生表を掲載す(十八錢大阪市東區今橋五の一四關西國畫會)

▲英語倶樂部(七の一)片山寛氏の大きいミステークと小さいミステークあり其の他の文法翻譯等例の如し(十二錢東京市小石川區高田豐川町四二其社)

▲國民飛行(一の七)列强の夫に比して我國飛行界の如何に幼稚なるかを思へ、思ふて奮起せよ、奮起せんとせば先ず本誌を購讀せよ(十八錢東京市麹町區四番町其社)

▲料理の友(衛生と經濟號)安價生活は近時中流家庭の流行否必要條件となれり、安價にして美味而して衛生的なる食物を得る事は夏期に於て殊に其の要あり、本誌に就て學べ(二十二錢東京府上大崎中丸大日本料理研究會)

▲東華評論(一の二〇)支那人の經營する日文雜誌なり、君主と共和と日本、米紙の對日本觀、日米は支那の門戸を閉鎖せんとする彼等の態度の一端を窺ふべし(十錢北京東城騾米倉二六其社)

▲美術の日本(八の六)慶州芬皇寺の多層塔 岡野博士、美術の發達と佛教の變遷 山下鮮光其他(十二錢東京市京橋區南鍋町一ノ一審美書院)

▲女の世界(七月號)前號發賣禁止の厄に遇ひたるを以て内容を整頓し最も興味多き問題を提へ來つて女を各方面より研究せんとせり一二を擧ぐれば女と性との問題、婦人の職業生活と家庭問題、マダム德子の胸の中等(二十三錢東京市麹町區有樂町一の四實業之世界社)

讀者の領分

▲小生は此の度砲兵の十番に當籤して居りますが孰れ入營すべきものとは覺悟して居りますが合格證書は何時頃本人に落手する事が出來ませうか或友人から右の樣な問合せが來ました御存じの御方は何卒(甲種砲兵合格者)▲川中嘱託殿に答ふ予は『ハヘコマルマン』に候然れども故ありて今回迄は住所氏名は發表致さす候雛に關する御調査云々は予も至極希望に候何卒一日も早く御調査願度候其箇所は第一吉野町及び蓬莱町附近第二は仲町及び櫻町又は光熙町並木町邊は其最も甚だしき處にして其他塵芥運搬人夫の背後等には常に白き『チョクリ』の黑く見ゐる迄附落し居る事は何人の眼底にも著しく映じ居る事と存候猶御必要も有之候はゞ追々御報申上べく候(ハヘコマルマン)▲此頃京城でも藤八拳が流行してゐるさうですが教へて下さる方はありますまいかあれば妾等二三人で稽古に參ります私共は時々御客樣に望まれて恥をかく事があつて困ります稽古場を是非敎へて頂戴な(とく子)▲幼兒に生菓子や生魚など昨今厳禁すべきである僕の近所の家では大に後悔してゐる(近隣の者)▲京城市中には他家の炊事場の評定から盥箭の中迄も彼是口を利く某判任官の妻君がある主人の職務上にも差支へるやうなことになるぞ(雇員)▲南山生に答ふ親子の情として子供の倒れても放任する様な婦人は『バイカラ』我儘婦にて主人は例の妻のろです子供には尤も冷酷の婦人です職業ではありません(大和町三丁目老人)

祝仁川支局發展 仁川 久水三郎

祝仁川支局發展 仁川 櫻井小一

祝仁川支局發展 仁川 永井松次郎

祝仁川支局發展 仁川 伊東清七郎

祝仁川支局發展 仁川 松元鶴熊

祝仁川支局發展 仁川府廳 堀内宗生 都築堅雄 阪東門十郎 岡本保誠 島崎要一 家弓伊三郎 堀米茂雄 尾西茂樹

祝仁川支局發展 仁川 布村茂隆

祝仁川支局發展 仁川 和田友太郎

祝仁川支局發展 仁川水道事務所 永井良作 佐治爲敬

祝仁川支局發展 仁川山手町 緒方久

祝仁川支局發展 仁川驛 池見與五郎

祝仁川支局發展 仁川京町法律事務所 後藤連平

祝仁川支局發展 仁川 上原堅一

此記事の中に

婦人方に是非必要なものがかくれて居ます――何でせう？

近頃

皆樣が市中をお歩きになると、お化粧もしてゐないのに不思議にお顏の美しい方々をお見かけになりませう。そして其のお顏が唯の美しさではなく、如何にも晴々と、鮮かに水際立つて、此上なく品がよく美しいので思はず見惚れるやうな事がお在りでせう。それからツヒ

昨日まで

餘り美しい方ではなかつたお友達が今日はまた不思議に活々とした艶のある美しいお顏をして被居るので、ハテ〇〇子さん何うして急に生變つたやうにおなんなすつたのだらうと、不審に思召すやうな事もちよい〳〵お在りでせう。このお化粧もなさらずに不思議に美しい方々こそ

朝……

使へば一日中顏色を活々と美しく保つといふ珍しい作用のある新化粧液美顏ユーマーをお用ひになつたので、ツマリ逸早く最近の美容法に就ての學者の研究品を信じてお用ひになつた方々なのです。何故と申せばこの美顏ユーマーこそ、美顏白粉を發明して

名譽

を揚げた桃谷研究試驗部の學者が、何卒して凡ての婦人のお望に適ふ新しい化粧液を創製し度いものと、研究に研究を重ねて漸と出來上つた、如何にも美しい氣持のよい液で、最初の研究の目的通り、此美しい液をお顏へおつけになれば、此美しい〳〵液が其儘顏の色艶となつて

現れる

といふ不思議の作用を持つてゐる點

朝使へば一日中顏色を活々と美しく保つのですが、殊に此液には先に桃谷研究試驗部で發見した垢ヌケする成分を多量含んでゐますから、續けて使へば段々と垢ヌケして顏の生地までも美しくなり、次に荒れを防ぐ新成分の力で、どんな寒さにも顏の荒れる事がありません。それから

今一つ

これは是非お試し願度いのですが、美顏ユーマーを白粉の溶水に使へば不思議に白粉のノリノビが良くなり、どんな白粉のツキの悪い方でも、化粧が綺麗に而て手早く出來、殊に白粉に得も言へぬ美しい艶を添へますので、それは〳〵ホントウに美しいお化粧が出來ます。現に今

東京

一の美顏術大家、各宮家御用マリールウホズ孃は、美顏白粉の創製以來深く桃谷研究部を御信用になつて、何彼と力を添へられるやうになりましたが、其後美顏ユーマーを御試驗になり、これは成程從來にない珍しい化粧液であると仰在つて非常にお喜びになり、今では美顏ユーマーは美顏白粉共々宮家の御料に召される光榮を擔つて居りますが、此品の今一つの特長は婦人方ばかりでなく

男子

の方々も此液の如何にも附け心地のよいのと皮膚衛生上の効が優れてゐるのをお喜びになつて、顏剃後などに用ひ、剃刀負けを防ぐ等に盛に御賞用を賜る事で、實際美顏ユーマーは男子方の皮膚にもよく合つて、男らしい風彩を引立てます。定價は一瓶十八錢、各化粧品店等で販賣して居ります。お試しになればどなたも必ず滿足なされます。

準禁治産宣告

原籍 福岡縣三潴郡大川町大字榎津參百九拾五番地
住所 京城府本町武丁目拾壹番地
平民無職 中村再造長男
中村巖 明治貳拾四年參月六日生

右ニ對シ當法院ハ大正五年六月貳拾七日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

大正五年六月貳拾八日 **京城地方法院**

龍山駐剳陸軍倉庫

脫脂綿紗五拾萬瓩賣買ス詳細ハ門前ニ掲示シアリ入札七月三日午後一時

合資會社熊野商會

解散シタルニヨリ會社ニ對スル債權者ハ本年八月三十日迄ニ申出有之度若シ其申出無之時ハ清算ヨリ除外可仕候

大正五年六月二十六日
京城府古市町十四番地 合資會社熊野商會
(申込場所同所)
清算人 成江松之助
同 中村恒彦

新刊書御案内

書名	著者	定價
大增補模範英語辭典		特一、八〇
支那研究	教育學術界	一、〇〇
臺灣殖民發達史	東鄉實	一、八〇
電信及電話	久萬強藏	一、〇〇
自修實用最新簿記の覺方	國分可任	七〇
手數のいらぬ新らしき珠算の秘訣	佐々木政吉	五〇
工業化學便覽	鞠部先	一、一〇
禪學應用強膽術	渡邊勘山	九五
安産のしるべ	岩崎直子	九五
クラーグ入門(商業叢書の一)		四五
東西文學比較評論	高安月郊	三、〇〇
アダム以前	篠崎彦三郎	八〇
肩揚を下して	鈴木秋風	一、〇〇
演劇論集	小山内薫	一、一〇
海の趣味	若林欽	一、二〇
銀の鍵(上)	柳川春葉	一、三〇
初對面	堀川黌陽	九五

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二九七三

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 六月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立山丸 六月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 六月 日後六時出帆
○住須奈、巖原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二(日九日十四日廿一日廿六日)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第十共同丸 六月廿七日後二時入 七月一日前九時出
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三共同丸 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番)
仁川代理店 山下回漕部 仁川花町(電話二四四番)
元山代理店 田口回漕部 南大門(電話二六八・二二七)
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 七月一日 ○京畿丸 七月十一日 ○黃海丸 七月十五日 ○咸鏡丸 七月五日 釜山發 門司より釜山各港經由雄基間航路
○穩城丸 七月二日 ○昌平丸 六月三十日 ○鏡城丸 七月六日 元山發 元山より各港經由雄基行
○忠淸丸 七月六日 ○平壤丸 六月廿九日 元山發 城津淸津浦鹽行(復航釜山より門司又は長崎行)
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○盛德丸 七月四日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港經由蔚島行
○江陵丸 毎日 浦項發
○三浦丸 六月三十日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發 各港經由麗水行
○公州丸 六月三十日 木浦發 各港經由濟州島行
○公州丸 七月一日 木浦發 南多島海列島行(月三回)
○慶興丸 七月四日 仁川發 各港經由濟州島行
○宗信丸 七月一日 仁川發
○江原丸 七月七日 仁川發 大連、芝罘行
○麗水丸 七月二日 仁川發
○晉州丸 七月五日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、楊花島、海州行
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七二八番

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 七月 日 遠州丸 七月十二日 天智丸 七月八日 後五時出
○鎭南浦、群山、神戸、大阪行 漳州丸 六月廿八日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 七月廿二日 信濃丸 七月四日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 七月二日 後二時出
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 六月三十日 七月十七日 後二時出
○大連直行 日米丸 六月 日 正午出帆
○群山、神戸、大阪行 福州丸 七月十二日
○群山、釜山、横濱行 宮島丸 六月 日 後五時出
○淸津、浦潮行(元山出帆) 安平丸 七月十八日 宮島丸 七月四日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 七月七日 後四時出 湖北丸 七月九日 前六時出

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 君か代丸 七月九日 大有丸 七月一日 神代丸 七月六日 秀吉丸 七月十四日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五十九番

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行 相模丸 七月五日 高砂丸 七月十五日 三河丸 七月廿六日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十一番

商況

下關期米特電

▲官限豫想

二十八日の八月限 寄付 十二圓六十八錢

賣買次組高 六月限 千二百